

# 真宗

〈巻頭言〉

2025年 真宗本廟 報恩講

「姿をいただく」 宗務総長 木越 涉

〈教団の動き〉

宗議会議員総選挙が行われる

「京の夏の旅」で御影堂門楼上・涉成園 燕申堂を特別公開

「岡崎教区第3組新組発足式」開催

原爆80年「非核非戦法要」勤修・「非核非戦のつどい」開催

〈公告〉財産処分について

〈ご案内〉

2025年 真宗本廟 報恩講

令和6年能登半島地震復興支援事業

11月号

2025(令和7)年



真宗本廟報恩講 準備風景

## 新刊のご案内

# 宗祖の著作をとおしてあらためて学ぶ機縁に

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念

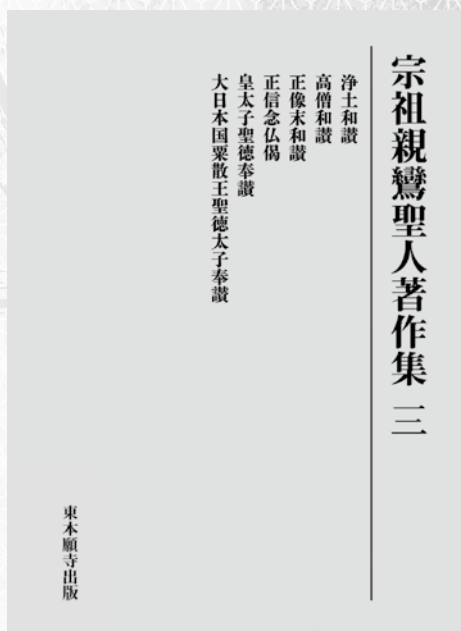
## 宗祖親鸞聖人著作集 三

聖教編纂室(編)／東本願寺出版(発行)

宗祖親鸞聖人が撰述された和讃をはじめとした聖教(『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』『正信念仏偈』『皇太子聖徳奉讃』『大日本国粟散王聖徳太子奉讃』)の本文及び左訓の翻刻を収載しています。『真宗聖典 第二版』と照応しながら、原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキストです。

A5判・箱入り 460頁

定価：4,950円(税込)



東本願寺出版  
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・試し読みは

東本願寺出版

検索

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

## 蓮如教団論

金龍 静憲 蓮如から顕如までの各宗主の事跡を軸に、戦国期本願寺教団の歴史と実像を、組織構造や法物類などの視点も交えて多角的に描き出す。一五、四〇〇円

## シリーズ 教行信証 上

桐溪順忍(著) 真宗の聖典「教行信証」を上・中・下の三巻で解説。別巻では教義上の諸問題を解説する。全4巻の復刊第1巻目の上巻は、教行・行巻。二五、三〇〇円



## 全編解説 浄土論註

—— 社会環境による苦悩解決への道  
菱木政晴(著) 近代教学とは異なる「浄土論註」理解によって専修念仏・往還二回向の根源的意義を明らかにし、現実社会における救いの姿を描き出す！ 二二、〇〇〇円

## 石山合戦を読み直す

—— 軍記で読み解く日本史  
塩谷菊美(著) 一向一揆や石山合戦は後世に創作された虚像なのか。軍記という物語に潜む作者の意図を読み解き、物言えぬ者達の実像をあぶりだす。二二、〇〇〇円

## 語られた親鸞

塩谷菊美(著)

一、四二〇円

## 三木清「親鸞」

岩田文昭(編)

一、三〇〇円

## 2026年 ほんのぼののカレンダー

東井義雄(詩) 谷内正遠(文字・絵) スケジュールの書き込みに便利な大判サイズ。一五〇円  
※ 寺院名を印刷可能(要実費)

ほんのぼののカレンダー解説書  
「こころの味を大切に」  
東井義雄(著) 一、一〇円



〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458



法蔵館

https://pub.hozokan.co.jp 新刊メール配信中！  
表示価格税込 お買上16,500円(税込)以上送料無料

# 真宗

11月号

第1460号

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 巻頭言—2025年 真宗本廟 報恩講…………… | 2 |
| 「姿をいただく」宗務総長 木越 渉       |   |

|            |   |
|------------|---|
| 教団の動き…………… | 4 |
|------------|---|

宗議会議員総選挙が行われる

「京の夏の旅」で御影堂門楼上・涉成園 燕申堂を特別公開

「岡崎教区第3組新組発足式」開催

原爆80年「非核非戦法要」勤修・「非核非戦のつどい」開催

(公告) 財産処分について

## お知らせ

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 『改訂 教団のあゆみ—真宗大谷派教団史』発刊…………… | 6 |
|-----------------------------|---|

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 「お寺の法宝物調査支援」お申し込み受け付けの一時休止について… | 8 |
|---------------------------------|---|

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 教信証(坂東本) カラー影印本 申込受付中…………… | 9 |
|----------------------------|---|

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 宗派公式ウェブサイト『真宗』誌の内容を閲覧できます…………… | 14 |
|--------------------------------|----|

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| (広告) 月刊『同朋』11月号—特集「「ありがたい」の話」…………… | 15 |
|------------------------------------|----|

## ご案内 2025年 真宗本廟 報恩講

|                 |    |
|-----------------|----|
| 日程・諸行事のご案内…………… | 16 |
|-----------------|----|

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 令和6年能登半島地震復興支援事業～東本願寺で能登を想ふ～… | 19 |
|-------------------------------|----|

## 各種連載

|                     |    |
|---------------------|----|
| ハンセン病はいま (333)…………… | 22 |
|---------------------|----|

|                  |    |
|------------------|----|
| 青少年センターニュース…………… | 24 |
|------------------|----|

|                     |    |
|---------------------|----|
| 児童教化のページ (594)…………… | 26 |
|---------------------|----|

|                                                           |    |
|-----------------------------------------------------------|----|
| 今月のお寺 (229) 〈大垣教区浄源寺〉「みんなの居場所<br>—地域に必要とされるお寺を目指して—」…………… | 28 |
|-----------------------------------------------------------|----|

## ご案内・要項

|            |    |
|------------|----|
| 総合相談室…………… | 29 |
|------------|----|

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】…………… | 34 |
|---------------------------|----|

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 首都圏教化推進本部職員(法務員)募集要項…………… | 35 |
|---------------------------|----|

|                        |    |
|------------------------|----|
| 解放運動推進本部 本部要員募集要項…………… | 36 |
|------------------------|----|

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 2026年「教師資格取得準備学習会」募集要項…………… | 37 |
|-----------------------------|----|

|                        |    |
|------------------------|----|
| 宗務役員(事務嘱託・常勤)募集要項…………… | 38 |
|------------------------|----|

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 2026年 春期教師試験検定要項…………… | 40 |
|-----------------------|----|

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 2025年度下半期 教師修練【前期】【後期】(教師補任)実施要項… | 42 |
|-----------------------------------|----|

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 若者教化立ち上げ応援プロジェクト募集要項…………… | 44 |
|---------------------------|----|

|                 |    |
|-----------------|----|
| 真宗本廟奉仕のご案内…………… | 45 |
|-----------------|----|

|                     |    |
|---------------------|----|
| 現在受付中の募集・開催要項等…………… | 45 |
|---------------------|----|

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 真宗教化センター しんらん交流館のご案内…………… | 46 |
|---------------------------|----|

|                        |    |
|------------------------|----|
| 大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内…………… | 47 |
|------------------------|----|

|                     |    |
|---------------------|----|
| 真宗本廟 参拝接待所のご案内…………… | 48 |
|---------------------|----|

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 真宗本廟収骨・読経・帰敬式受付時間表(12月～1月)…………… | 50 |
|---------------------------------|----|

## 公示・告示・任免等

|       |    |
|-------|----|
| …………… | 52 |
|-------|----|

## 2025年 真宗本廟報恩講

## 姿をいたたく

宗務総長 木越 渉



昨年発災した「能登半島地震」以来、今なお厳しい環境におられます皆さまに、衷心よりお見舞いを申し上げます。

宗門として、息の長い支援を継続し、穏やかな日常を取り戻せますよう、力を尽くします。

さて、本年も宗祖親鸞聖人の御正忌報恩講を、皆さまと共に有り難くお迎えさせていただきます。

憶えば宗祖は、誰のために『教行信証』を書き遺し、「帰命無量寿如来」の声を遺してくださったのでしょうか。

それは他でもない、私のためです。宗門に縁ある一人ひとりのためです。

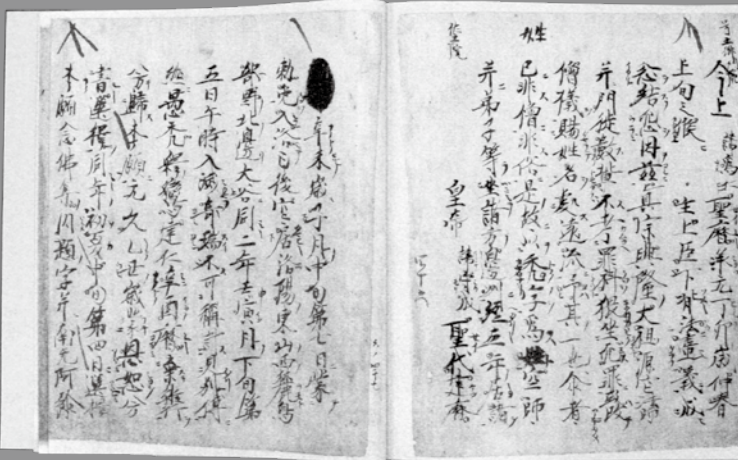
その証しは、南無阿弥陀仏の声（御名）です。私たち一人ひとりが、今現に御名を聴いています。つまり、私たちには「南無阿弥陀仏の道」が既にして与えられているということです。

宗祖は、『教行信証』に

円融至徳の嘉号は悪を転じて徳を成す正智、難信金剛の信樂は疑を除き証を獲しむる真理なり

〔教行信証 総序「真宗聖典 第二版」一五九頁〕

と銘記されています。これは他に真実があるのではなく、「南無阿弥陀仏が真実」であるということです。



「見聞『教行信証』坂東本」の様子(2024年)



人は、意識や感覚を自分で改めることができません。それを仏陀は「凡夫」と教えてくださっています。私たち凡夫は、「気づかされる」ことがなければ改まらないのです。その気づきは、仏法に生きる人との出会いによって賜ります。「人と仏法は不二である」という教語があります。浄土真宗は、人の姿に顕われるということです。

宗祖は『教行信証』に、

然るに、愚忝釈の鸞、建仁辛の酉の暦、雑行を棄てて本願に帰す

(『教行信証』後序「真宗聖典第二版」四七四頁)

と銘記されています。それは自分の頭で考えた決意ではなく、師である法然上人の生き様やお姿といった「存在そのもの」に感動して、「真実の道標」に帰されたに違いありません。

このことは、教えが文字や教理だけで伝わるのではなく、教えに生きる人によって証しされ、伝承されてきたという事実です。

本年も期間中に、職員の説明を交えて聖人唯一のご真筆である『教行信証』坂東本(影印本)をご覧いただけます(本誌20頁参照)。

昨年も多くの方が参加してくださり、多くの方はスクリーンに坂東本が映った途端に合掌されます。私の前におられた方は「もったいないこっちゃ」と仰いました。きっと加賀の方でしょう。ものをいただいた時に使う言葉です。つまりその方は、坂東本を宗祖からいただいた宝物、「念仏申せ」と伝えてくれる、丁寧な丁寧な「お手紙」だと受けとめられたのです。

ご真筆を通して親鸞聖人に触れる。宗祖をこれほど身近に感じられることはありません。

真宗門徒の一年は、「報恩講に始まり、報恩講に終わる」と伝承されてきました。

さあ、親鸞聖人に、念仏申される人々、御同朋に、あいに来てください。共に御名を呼びましょう。一人でも多くのご参拝を、心よりお待ちしております。

南無阿弥陀仏

## 教団の動き

## 総務部

## 宗議会議員総選挙が行われる

〔9/17〕

このたび、宗議会議員の総選挙が行われ、六十五名の宗議会議員が選出されました。

宗議会は参議会とともに宗派の最高議決機関である宗会を構成しています。任期は二〇二五年九月十七日より四年です。

今回選出された議員は次のとおりです。

なお、十月十五日には第七十八回宗議会（臨時会）、十六日には第七十五回参議会（臨時会）が招集され、宗憲に基づき内局が総辞職し、新たな宗務総長が指名されます（次号詳報）。

## 富山教区

轡田普善 酒井一明 菊池 浩 菅原 貴

永崎 暁

## 京都教区

大橋秀暢 東野文恵 棕田隆知 竹内彰典

三品正親 伊吹恵鐘

## 能登教区

諸岡 敏 佐々木高 篠塚榮祐

## 大阪教区

清 史彦 西受秀文 北畠顯諒 高橋法信

## 金沢教区

木越 渉 坂本敏朗 井上 裕

## 山陽四国教区

望月慶子 浜口和也 木村 慎

## 小松大聖寺教区

能邨勇樹 山本龍昇

## 九州教区

長峯顕教 古賀堅志 内藤円亮 鳥取真悟

## 福井教区

山田孝彦 平等良香

福寫龍徳 藤井昭裕 森田孝作

## 岐阜高山教区

尾畑英和 内記 淨 桑田正人

（掲載は期数順・同期数の場合は五十音順）

## 北海道教区

磯川直文 大澤秀明 三浦祐真 宮本正顕

## 大垣教区

下谷泰史 水谷正人 龍 茂樹

## 東北教区

佐々木道範 石田悠晃 本澤盛正

## 岡崎教区

杉浦明道 藤井宣行 一郷 真

## 東京教区

且保立子 那須信純 岩嵯 徹

## 名古屋教区

勅使 忍 富田泰成 眞野琢児 花園兼有

## 新潟教区

田澤一明 渡邊 学 井上 博 金子光洋

## 藤原正雄

## 三重教区

廣川和宏

中川和子

※議員各位の宗政に関わる基本姿勢などを紹介する「新宗議会議員の顔ぶれ」は、本誌十二月号に掲載予定です。

# 教団の動き

## 「京の夏の旅」で御影堂門楼上・涉成園 燕申堂を特別公開

―「燕申堂」初の一般公開―

7/11(9/30)

七月十一日から九月三十日、京都市と京都市観光協会が主催し、毎年夏に開催されるキャンペーン「京の夏の旅」に宗派として協力し、「御影堂門楼上」と「涉成園 燕申堂」の特別公開が行われました。期間中は連日多くの人が訪れ、約二万九千名の参加がありました。

この事業は、京都市内各地の文化財などの魅力を伝え、ゆつたりと観光を楽しんでいただくためのキャンペーンとして、今年で五十回目の開催となります。

## 企画調整局（寺院活性化支援室）

18/25(26)

## 第3回「全国寺院活性化支援室主任会議」開催

八月二十五日から二十六日にかけて、しんらん交流館大谷ホールにて第三回「全国寺院活性化支援室主任会議」を開催し、各教区支援室の主任職や関係者三十八名が出席しました。

会議初日は、「人口流動社会の中で寺院の活性化をどう考えるか？」教勢調査のデータを基に教区での支援策を創造しよう」と題



初日のワークショップ



ポスターを見て意見を交わす

したワークショップを実施。第八回「教勢調査」の教区データをもとに、八つの教区をモデルとして、支援策の検討が進められました。各教区の多様な現状にふれ、新たな視点に気づき熱心にメモを取る参加者の姿も見られ、活発な対話が行われました。ワークショップの最後には「様々な調査と教勢調査の内容を統合し、寺院が抱える課題を可視化する必要がある」



説明に耳を傾ける参加者



燕の釘隠（燕申堂）

の建物は、蛤御門の変による焼失のち一八九〇（明治二十三年）年に再建されたもので、近年まで門首の親族の住居だったため非公開でしたが、今回初めての一般公開となりました。

期間中は、ガイドの案内に耳を傾けながら、燕申堂の特徴である一つずつ飛形が異なる燕の釘隠や、近代京都画壇を代表

今回特別公開された「燕申堂」は、退隠した門首の隠居所（住居）として使われていた、数寄屋風意匠を納めた二階建ての建物。現在

## 組織部

【8/31】

## 「岡崎教区第3組新組発足式」開催

## — 旧第3組、旧第30組の合併 —

八月三十一日、岡崎教務所において、「岡崎教区第三組新組発足式」が開催されました。岡崎教区では七月一日付で「第三組・第三十組」が「第三組」となる改編が行われ、教区改編の対象教区以外で初めての組の改編となります。発足式に先立ち、合併後初めての組会、組門徒会、所長巡回が行われました。

発足式は宗議会議員、参議会議員、坊守会長ら来賓の方々が臨席のもと、総勢六十名が参加して開催されました。

副組長である雪吹祖遵氏の調声のもと正信偈同朋唱和、その後、木越渉宗務総長の祝辞が代読されました。錦秀見岡崎教務所長の挨拶では、第三組の寺院数の減少を受け第三十組との合併の相談が始まり、足かけ三年にわ

「既存の教化事業を見直し、地域に根ざした活動を推進したい」「教化組織や法座の場の再構築を支援するアイデアを、持ち帰ってすぐに提案したい」等の前向きな意見が共有されました。

二日目には、各教区の活動や今後の構想を、模造紙やスライド資料などにまとめて掲示発表する「ポスターセッション」が行われまし

た。足を止めてポスターをじっくりと読み込み、熱心に意見を交換し合う中で、各教区の個性や創意工夫など活動の成果だけではなく、失敗談や悩みも率直に共有され、参加者同士の共感と理解がさらに深まりました。

今回の会議を経ることで、参加者がそれぞれの教区に新たな学びを持ち帰り、今後の支援活動のさらなる発展を期する場となりました。



錦所長挨拶

ては、非常に大きな第一歩。この第三組において大きな交わりが生まれ、互いに刺激を合い、互いに教えられ、自分自身の歩みが始まる。そのようなことがこの第三組に願われている」と投げかけられました。

発足式の後には懇親会が行われ、新たな組としての交流の第一歩が始まりました。

## お知らせ 『改訂 教団のあゆみ—真宗大谷派教団史—』 発刊

このたび、教師養成のための教科書『教団のあゆみ—真宗大谷派教団史—』の改訂版が発刊されました。

つきましては、教師試験検定に向けて学習される方はご留意くださるようお知らせします(「春期教師試験検定要項」は本誌40頁掲載)。〈教育部〉

## 『改訂 教団のあゆみ—真宗大谷派教団史—』

2,200円(税込)

(2025年6月28日発行)



書籍のご注文は東本願寺出版まで。オンラインでの注文はこちらから→  
E-mail: books@higashihonganji.or.jp / FAX: 075-371-9211



# 教団の動き

## 九州教区

【8/9・9/7】

### 原爆80年「非核非戦法要」勤修・ 「非核非戦のつどい」開催 ―あなたは、どんな「くに」を 願いますか?―

八月九日、九州教区長崎教会（長崎県長崎市）にて原爆投下から八十年を迎える「非核非戦法要」が勤修され、約一五〇名が参拝しました。

長崎教会にある「非核非戦」の碑前で勤行の後、本堂で開会式が行われ、信國眞（九州教務所長の挨拶に続き、読経が行われました。そして「非核非戦のつどい宣言文」を参集者全員で読み上げた後、森達也氏（映画監督）の講話がありました。森氏は人が集団化し暴



「非核非戦」碑前での勤行（非核非戦法要）



非核非戦のつどい

走する危うさについて語り、集団の中で埋没せず個を保つことの重要性を話されました。また、九月七日には、出島メッセ長崎（長崎県長崎市）にて「非核非戦のつどい」が開催されました。なお、つどいに先立ち、長崎教会に約三百名が集まり、会場の出島メッセに向けて平和行進を行いました。

平和行進にあたり非核非戦の碑前で勤行した後、実行委員長である田中顕昭氏（九州教区西教寺）から挨拶があり、行進が始まりました。

非核非戦のつどいには、全国から約一二〇〇名の方々が集いました。開会にあたり大谷暢裕門首、木越渉宗務総長が挨拶をした後、高校生平和大使の苅序知さんによるスピーチがありました。続いて田中重光氏（日本被団協代表委員）が四歳当時の自身の被爆体験を話され、その後、尾畑文正氏（同朋大学名誉教授）による講話がありました。尾畑氏は総代をされていた方が「目の前の人を殺さなければ自分が殺される。こんな惨いことはない」と語られたことから、『歎異抄』の「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」というお言葉を実感したと話され、「戦争をするような国にしてはならない」と講話を締めくくりました。

した。

原爆八十年という大きな節目の中で、これまでの歩みを振り返って改めて自身を問います場となり、そして九十年に向けた新たな歩みの出発点となりました。

（九州教区通信員・奥村誓至）

#### 〈訃報〉

#### 参議会議員ご逝去のお知らせ

中山克宏氏（なかやま かつひろ）参議会議員「名古屋教区選出」第二十三組有隣寺門徒、八十二歳）が二〇二五年十月三日に逝去された。葬儀は同月五日に執り行われた。

中山氏は二〇〇〇年から二〇〇六年、二〇一二年から今期の七期にわたり参議会議員を務め、二〇二一年から二〇二四年まで参議会議長を務められた。

## 災害救援本部より

## ■「令和6年能登半島地震」ボランティア支援センターのご案内

能登教務所に設置している「ボランティア支援センター」では、宗派関係者のボランティア活動に対して、宿泊場所の提供・活動経費の助成等の支援を行っています。

被災地域では息の長い支援を必要としています。能登教区でのボランティア活動を希望される方は、ボランティア支援センターにお問い合わせください。

※宿泊・活動助成等の詳細はボランティア支援センターホームページをご覧ください。

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町テ9-1 [能登教務所内]

TEL : 070-1860-6010 (専用電話) FAX : 0767-53-0057 [能登教務所]

E-mail : nvsc@higashihonganji.or.jp



ボランティア  
支援センター  
ホームページ

## ■救援金のお願い

宗派では、このたびの「令和6年能登半島地震」に対する救援金の勧募を行っております。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

【救援金口座】 郵便振替口座番号 00920-3-203053

【加入者名】 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。



## 【令和6年能登半島地震指定救援金総額】

247,953,769円 (9月30日現在)

※宗派救援金口座及び境内救援金箱に寄せられた救援金の総額

〈最新情報はこちら〉

宗派公式  
ウェブサイト→



宗派災害情報  
公式X→



## お知らせ

## 「お寺の法宝物調査支援」お申し込み受け付けの一時休止について

寺院活性化支援事業「お寺の法宝物調査支援」(本誌8月号54頁参照)につきまして、多くのご関心とお申し込みを賜り、深く御礼申し上げます。

現在、大変多くのお申し込みをいただいております。誠に恐縮ではございますが、新規のお申し込みの受け付けを一時休止させていただく運びとなりました。

今後の受け付け再開につきましては、あらためて寺院活性化支援室ホームページ等にてご案内いたしますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

真宗教化センター 寺院活性化支援室

TEL : 075-371-9208 E-mail : kyokacenter\_shienshitsu@higashihonganji.or.jp



# 教行信証(坂東本) カラー影印本 申込受付中

このたび、『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本(東本願寺出版)の発行に際して、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として2005年に製作された、高精細カラー印刷を用いた『教行信証(坂東本)』カラー影印本(原寸大)を、あらためてお求めになる声が寄せられました。

そこで、その声にお応えして本山で大切に保管しておりました最後の30部を頒布いたします。

これが最後の機会となりますので、ぜひともお申込みください。

**残20部**  
(10月8日現在)



『顯淨土眞實教行證文類(坂東本)』  
カラー影印本 全六冊  
美濃紙(機械漉き)  
高精細オフセット印刷(八色刷)  
三穴和綴・上製桐箱・解説書付

受付期間：2025年**10月1**日から2026年**6月30**日まで【**申込先着順**】

懇 志 金：580,000円以上

申込方法：①お名前、ご住所、お電話番号をFAXまたはメールにて送信ください。なお、件名として「教行信証(坂東本) カラー影印本申込」と記載ください。

②財務部から電話にて申込確認をいたします。

③振込確認後、送付いたします。

注意事項：領収書は発行いたしませんのでご了承ください。

金融機関発行の振込明細をもって領収にかえさせていただきます。

【振込先】

北陸銀行 京都支店(支店コード804)(普通) 1080340

名義：真宗大谷派宗務所(シシユウオオニシユウシヨ)

【お問い合わせ】

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上ル常葉町754 真宗大谷派宗務所 財務部  
TEL: 075-371-9186 FAX: 075-371-9195 mail: zaimu@higashihonganji.or.jp

## 5 地 代

無償

## 6 契約期間

40年間

## 7 その他主な契約内容

## (1) 目的

入院中の子どもの治療に付き添う家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」を建築し運営することを目的として、本契約を締結する。

## (2) 実施事業の範囲

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」及びその付帯施設の運営

## (3) 運営事業者

「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」

所在地：東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー

## (4) 引き渡し

宗派は京都府公立大学法人に対して、本物件を現状有姿のままで引き渡す。

## (5) 契約不適合責任の免責

本物件において、目的の事業の遂行を妨げるおそれのある地中障害物、土壌汚染等、その品質又は性能に関し、本契約の内容に適合しないものが存在した場合であっても、宗派はその責任を負わない。

## (6) 本物件の公租公課

使用貸借期間中に、当該土地のうち本物件以外の残余の土地に関する事業用定期借地権設定契約が終了した場合には、宗派と京都府公立大学法人との間で、本物件に発生する公租公課の負担に関して、協議を行うものとする。

## (7) 権利譲渡の禁止等

宗派の書面による承諾なく、本契約に基づく権利を第三者へ譲渡することや担保設定、本物件の転貸をしてはならない。

## (8) 中途解約

双方とも中途解約はできない。但し、天災地変その他不可抗力が発生した場合はこの限りではない。

## (9) 原状回復義務

京都府公立大学法人は、本契約終了時まで、自己の費用をもって、本物件に存する建物等を解体・撤去し、本物件を原状回復の上、完全な更地として宗派に返還する。

## (10) 有益費償還請求権等の放棄

宗派と京都府公立大学法人は、民法595条2項（借主による有益費及び特別の必要費償還請求）の適用がないことを相互に確認する。

## (11) 規定外事項

定めなき事項については、双方誠意をもって協議し、その解決にあたる。

以 上



## 財産処分について（公告）

このたび、宗教法人「真宗大谷派」の財産を処分することになりましたので、宗教法人「真宗大谷派」規則第53条第1項の規定により公告します。

2025年10月14日  
門徒その他利害関係人各位

京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
宗教法人「真宗大谷派」  
代表役員 木 越 渉

### 記

#### 1 処分する財産

所在地：京都市上京区御車道通清和院口上る東側梶井町447番  
地 目：境内地  
地 積：5,273㎡（公簿）のうち敷地北東部の971.17㎡（以下「本物件」という。）

#### 2 処分の目的（理由）

当該土地は、2017年10月30日に解散した宗教法人「了徳寺」より、「自然環境の保全に努めつつ公益事業に利用すること」を条件として、京都市、京都府、宗派に対し、寄付の申し出がなされ、三者で協議の結果、2019年2月14日付で宗派に所有権が移転されたものである。

その後、寄付条件に基づく当該土地の活用について、宗派及び京都府で協議を重ねたところ、「京都府」を通じて「京都府立医科大学」及び「公益財団法人京都府医学振興会」より、「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（以下「DMHCJ」という。）」が運営する、入院中の子どもの治療に付き添う家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」事業の提案がなされた。

その提案について、2023年10月2日開催の財産管理審議会、2023年10月13日開催の参与会及び常務会においてそれぞれ議決を得て公告を行い、宗派と京都府立医科大学の運営法人である「京都府公立大学法人」との間で、本物件の無償貸借契約の円滑な締結に向けて、基本協定書を2024年1月16日に締結した。

基本協定書の締結以降、滞在施設の建設に必要な資金を「京都府公立大学法人」「公益財団法人京都府医学振興会」「京都府」等と「DMHCJ」において寄付を募り、併せて契約内容の諸条件整理、施設建設に向けた行政協議を行ってきた。

このたび、基本協定書に基づいた協議がまとまり、施設建設に必要な資金も寄付目標額を達成したことから、土地使用貸借契約を締結したい。

#### 3 処分の方法

貸与〔土地使用貸借契約（無償）〕

#### 4 処分の相手方

京都府公立大学法人  
京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地

## 6 契約期間

40年5ヵ月間

## 7 その他主な契約内容

### (1) 目的

行陵会が病院及びその付帯施設の所有と運営を行うことを目的として、本契約を締結する。

### (2) 保証金

50,000,000円（月額賃料の12ヵ月分）

※保証金は、本契約から生じる債務の担保として、行陵会から宗派に交付されるものであり、本契約の終了の際に、行陵会に債務不履行がないときは、宗派はその全額を行陵会に返還する必要がある。

### (3) 再契約に関する事項

本件借地権については、契約の更新（更新の請求及び土地の使用の継続によるものを含む）及び建物再建築による存続期間の延長がなく、期間の満了により消滅する。但し、本件借地権の期間満了後に、双方の合意により再契約することができる。

### (4) 中途解約

双方とも、中途解約はできない。但し、天災地変その他不可抗力が発生した場合はこの限りではない。

### (5) 引き渡し

宗派は行陵会に対して、本物件を現状有姿のままで引き渡す。

### (6) 契約不適合責任の免責

本物件において、目的の事業の遂行を妨げるおそれのある地中障害物、土壤汚染等、その品質又は性能に関し、本契約の内容に適合しないものが存在した場合であっても、宗派はその責任を負わない。

### (7) 自主管理広場の設置

都市計画法による開発行為に伴い、開発区域面積の3%以上を緑地・公園など、公共施設の設置が義務付けられているため、行陵会が本物件の一部を、自主管理広場の形で使用・管理する。但し、当該事実をもって、宗派に対し賃料減額請求や管理費の請求等の何らの請求を行わない。

### (8) 借地権の譲渡・転貸

宗派の書面による承諾なく、第三者へ借地権を譲渡、担保及び本物件の転貸はできない。

### (9) 建物買取請求権

本契約が終了したとき、行陵会は宗派に対し、建物の買い取りを請求することはできない。

### (10) 原状回復義務

本契約が終了する場合には、行陵会は、本物件上の建物等を自己の費用にて収去し、本物件を完全な更地として宗派に明け渡す。

### (11) 登記

行陵会は、病院建物の表題及び保存登記、病院建物に対する抵当権（根抵当権を含む）設定登記を行う。但し、本契約が終了し病院建物を取り壊した場合、行陵会は直ちに病院建物の滅失登記を申請し、登記にかかる費用は行陵会の負担とする。また、本物件について一切登記は行わない。

### (12) 規定外事項

定めなき事項、契約の各条項に疑義が生じたときは、双方誠意をもって協議決定する。

以 上



## 財産処分について（公告）

このたび、宗教法人「真宗大谷派」の財産を処分することになりましたので、宗教法人「真宗大谷派」規則第53条第1項の規定により公告します。

2025年10月14日  
門徒その他利害関係人各位

京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
宗教法人「真宗大谷派」  
代表役員 木 越 渉

### 記

#### 1 処分する財産

所在地：京都市上京区御車道通清和院口上る東側梶井町447番  
地 目：境内地  
地 積：5,273㎡（公簿）のうち4,302.34㎡（以下「本物件」という。）

#### 2 処分の目的（理由）

当該土地は、2017年10月30日に解散した宗教法人「了徳寺」より、「自然環境の保全に努めつつ公益事業に利用すること」を条件として、京都市、京都府、宗派に対し、寄付の申し出がなされ、三者で協議の結果、2019年2月14日付で宗派に所有権が移転されたものである。

その後、当該土地の一部については、「入院中の子どもの治療に付き添う家族のための滞在施設（ドナルド・マクドナルド・ハウス）」事業実施に係る土地（971.17 ㎡）として活用するに至ったが、残余の土地である本物件（4,302.34 ㎡）の活用については、自然環境の保全に努めながら公益事業である医療施設又は福祉施設として使用することを条件に、公募型プロポーザル方式により事業者を募集した。

公募期間中に、応募があった1件の提案について、「京都市上京区梶井町土地活用事業プロポーザル審査委員会（財産管理審議会）」において、医療施設（回復期リハビリテーション病院）事業を提案した「医療法人社団行陵会（以下「行陵会」という。）」を優先交渉権者に決定した。

その後、本物件における医療施設事業の実施に係る事業用定期借地権設定契約の円滑な締結に向けた協議を進めるため、2023年12月25日開催の財産管理審議会、2024年1月18日開催の参与会及び常務会においてそれぞれ議決を得て公告を行い、2024年4月12日に宗派と「行陵会」との間で基本協定書を締結した。

このたび、基本協定書に基づいた協議がまとまったことから、事業用定期借地権設定契約（公正証書）を締結したい。

#### 3 処分の方法

貸与〔事業用定期借地権（賃借権）設定契約（有償）〕

#### 4 処分の相手方

医療法人社団 行陵会（京都大原記念病院グループ）  
京都市左京区大原井出町164

#### 5 地 代

月額賃料 4,166,667円

## お知らせ

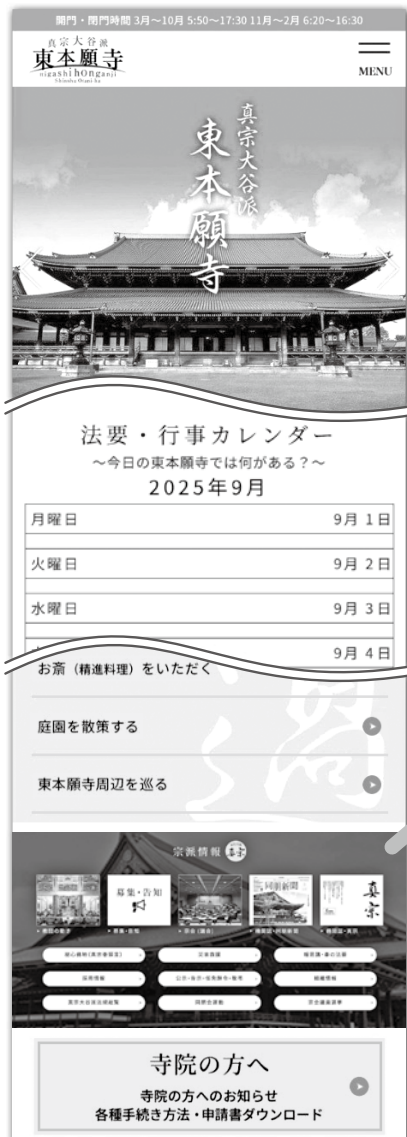
# 宗派公式ウェブサイトで『真宗』誌の内容を閲覧できます

2025年7月より、これまで『真宗』誌で掲載してきた内容が、宗派公式ウェブサイトでも閲覧可能となります。それに伴い、『真宗』誌面も順次掲載内容の精査を行っていきます。

今後、ウェブ上での情報発信をさらに充実させていきますので、これまで以上に宗派公式ウェブサイト及び公式SNSをご活用いただきますよう、ご案内します。

## 【宗派公式ウェブサイトトップ】

※スマートフォン版 2025年7月以降



## 新設 【宗派情報コーナー】



### ★主なポイント★

- ✓ 巻頭言「樹心佛地」や「教団の動き」、宗会情報などもウェブサイトに掲載。
- ✓ 「教区から」欄は、浄土真宗ドットインフォ(しんらん交流館HP)内「参加する」ページへ移行(<https://jodo-shinshu.info/sanka/>)。
- ✓ ウェブサイトに「法要・行事カレンダー」を掲載し、どなたでも参拝・参加可能な行事を一覧で表示。



※ウェブサイトで閲覧可能な情報は、『真宗』誌面の掲載を割愛する場合があります。

真宗大谷派公式ウェブサイト ⇒ <https://www.higashihonganji.or.jp/>



月刊 どうぼう

# 同朋

仏教がみちびく、あらたな人生

まずは、お寺で1冊ご購入ください!

◇ご門徒へのプレゼント、法要・行事の記念品としてもご利用ください。

「同朋」は生活の視点から、  
浄土真宗に親しむための月刊誌です



## 11月号特集「ありがたい」の話

〈寄稿〉

存在の出会い直し／中村玲太 (真宗大谷派教学研究所助手)

「遠い地」と私たちとつなぐ「ありがとう」

／安田菜津紀 (認定NPO法人Dialogue for Peopleフォトジャーナリスト)

平凡で非凡な瞬間／齋藤陽道 (写真家)

ありがとうということ／伊藤亜和 (文筆家)

〈インタビュー〉

「全てが宇宙に生かされた存在なんだ」と気づいた瞬間

／金満里 (態変芸術監督・舞踊家)

田我流が編集部にて聞いてみた／田我流 (ラッパー)

巻頭インタビュー 北村人 (絵本作家、イラストレーター)

## 魅力ある連載をご紹介します



後生の「大事」を心にかけて  
ニューヨークから開教便り

僧侶

名倉 幹



哲学者と僧侶  
「私」をめぐる往復書簡

僧侶

中山善雄



地獄・極楽を読み解く  
新解「往生要集」

大谷大学名誉教授

ロバート F. ロース



小説「一切の幸せ」

小説家

岩川ありさ

### お問い合わせ

◆FAX・電話・ハガキ・メール、またはオンラインショップでお申し込みいただけます。

◆代金は、『同朋』と共に送付いたします振込用紙にて、お支払いください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

東本願寺出版『同朋』係

TEL: 075-371-9189 FAX: 075-371-9211

メール: books@higashihonganji.or.jp

### 息できる風景

マンガ家

森泉岳士

### 対話 生きづらいこの世界でも

ジャーナリスト

竹田ダニエル

### 日々平熱のソウル

ミュージシャン

中田 亮

### ぺコロスのほどけてしゃがんで

マンガ家

岡野雄一

●毎月1日発行

●購読料 年間 4,400円 (税込・送料込)

1冊 440円 (税込・送料別)

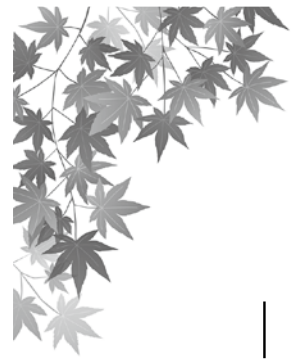
●A4判 フルカラー60頁

2025年7月号から価格改定

— 2025年 —

## 真宗本廟 報恩講

11月21日(金)～28日(金)



今年も真宗本廟において、報恩講が

厳修されます。

念仏の教えに遇い、生きる依り処を

いただいたご恩に感謝し、親鸞聖人の

ご遺徳を偲びます。

※期間中は真宗本廟収骨・本山永代経・御影堂読経についてはお取り扱いがございません。

〈開門・閉門時間〉

11月21日 開門 6時20分、閉門 17時

11月22日・23日・24日・26日・27日 開門 5時30分、閉門 17時

11月25日 開門 5時30分、閉門 19時

11月28日 開門 5時、閉門 16時30分

〈参拝の申込・お問い合わせ〉

本廟部・参拝接待所 TEL・075-371-9210

◆報恩講の特設サイトを開設しています。法要の最新情報の特設サイトをご覧ください。

◆法要にあたり、木越渉宗務総長からのメッセージを公開しています。ぜひご覧ください。



※掲載内容は変更する場合があります。

日程

11月21日(金)

9:00

集会・法話 埴山法雄氏(富山教区)

10:00

御正忌報恩講讃仰法要(音楽法要) 約1時間

引続

帰敬式

13:15

集会・門徒感話 坂井至道氏(岐阜高山教区)

14:00

報恩講法話 井上円氏(新潟教区)

引続

御正忌報恩講 初速夜(案) 約1時間30分

14:00

初夜勤行(正信偈草四句目下・同朋奉讃)

日程

11月22日(土)

6:50

初晨朝

9:30

御文 報恩講法話 埴山法雄氏(富山教区)

10:00

集会・報恩講法話 埴山法雄氏(富山教区) 約1時間45分

引続

帰敬式

13:15

集会・生徒感話 堀口晃希氏(東大谷高等学校)

14:00

報恩講法話 太田宣承氏(東北教区)

引続

御文法話「御正忌」(5帖目11通) 埴山法雄氏(富山教区) 約1時間

14:00

初夜勤行(正信偈草四句目下・同朋奉讃)

引続

初夜勤行(正信偈草四句目下・同朋奉讃)

インターネット ライブ配信のご案内

YouTube 東本願寺公式チャンネルにて、

報恩講のライブ配信を行います。

YouTube 真宗大谷派 公式 検索





## 講演会・法話情報 〈真宗教化センター しんらん交流館〉

## 〈第33回真宗教学学会講演会〉

◇11月24日(月) 18時〜20時20分(17時開場)

会場 真宗教化センター しんらん交流館2階大谷ホール  
お問い合わせ 教育部 TEL..075-371-9193

■テーマ 人と生まれて―信仰と社会―

■講師

「釈子畢罪の時、仏もまた頭痛す」  
福田 琢氏 (同朋大学学長)「自分史を省みる―近現代真宗史学徒として―」  
福島 榮寿氏 (大谷大学教授)

真宗教学学会では、毎年、真宗本廟(東本願寺)の報恩講期間中に、宗派内外から講師をお招きして講演会を開催しています。その講演会のテーマを、2023年度から「人と生まれて」と設定しました。「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」では「南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」とのテーマが掲げられました。三帰依文の冒頭でも「人身受け難し、いますでに受く」とあります。人と生まれたことは、決して当たり前ではありません。その意味をたずねていくことが、私たち一人ひとりの大切な課題ではないでしょうか。

私たちは共に人の身を受け、今ここに共に生きています。人と生まれたことは、私たちが共に生き合うにあたってまず確認しておかなければならないことでしょう。

そこで、「信仰と社会」というサブタイトルをつけました。信仰は私個人の中における出来事ではありますが、私を取りまく社会の中で問いかけれ、意味づけられてくるものです。信仰は社会とのいかなる関係にあるのか、信仰者は社会といかなる関係を結ぶのか、多くのご参加をいただき、共に考える機会となることを願っています。

## 〈親鸞聖人讃仰講演会〉

◇11月26日(水)〜28日(金) 17時〜20時(16時開場)

11月26日から28日の3日間、親鸞聖人を讃仰する講演会を開催します。ぜひご来場ください。

会場 真宗教化センター しんらん交流館2階大谷ホール  
お問い合わせ 教学研究所 TEL..075-371-8750

●講師

26日(水) 「聖人一流の道をあゆむ」

井上見淳氏 (龍谷大学教授)

「親鸞聖人と関東の門弟」

草野顕之氏 (大谷大学名誉教授)

27日(木) 「愚禿と名のつた念仏者」

楠 信生氏 (元教学研究所長)

「『大無量寿経』の聞思

―『歎異抄』になぜ承元の法難の記事が書かれたのか―」

延塚知道氏 (大谷大学名誉教授)

28日(金) 「親鸞聖人の涙に導かれて」

森村森鳳氏 (同朋大学特任教授)

「『本願力回向』ということ」

本多弘之氏 (親鸞仏教センター所長)



※講演の様子をインターネットにて同時配信いたします。

詳しい情報は

しんらん交流館ホームページにて公開中!

浄土真宗ドットインフォ

検索

## 令和6年能登半島地震復興支援事業 ～東本願寺で能登を想ふ～

### ◆ドキュメンタリー映画『<sup>なご</sup>風が灯るころ～奥能登、珠洲の記憶～』

上映会・シンポジウム（22日）／ 頼光和弘氏「写真展」

度重なる地震が発生した能登半島。そこに暮らす人々を追いかけたドキュメンタリー映画の上映を通して、今まさに苦悩を抱えながら復興に向かって歩んでおられる能登の方々に東本願寺から想いを馳せます。

上映に合わせて開催するシンポジウムでは、映画以降の復興の歩みを来場者と共有し、スクリーンに描かれた祭りに代表される能登の「文化」の復興を切り口に、同じく能登の人々の生活の礎となっている真宗文化の復興、寺院やお講といった地域コミュニティの今後について考える機縁いたします。

日 時：11月22日(土) 15時30分～18時

※映画上映に引き続きシンポジウム

会 場：真宗本願視聴覚ホール

協 力 金：お一人1,000円

※協力金は入場時にお預かりし、全額「令和6年能登半島地震救援金」として使わせていただきます。

【企画協力】 関西珠洲会 【後援】 関西石川県人会連合会、京都石川県人会

頼光和弘氏による能登半島地震と豪雨被害を被った能登の今を伝える写真展を、参拝接待所視聴覚ホール・ホワイエにて同時開催します。



### ◆能登半島地震復興応援ひろば

昨年に続いて、能登の復興を応援する物産市をお東さん広場で開催します。

期 間：11月22日(土)～24日(月)

11時～17時（24日は16時まで）

会 場：お東さん広場



### ◆報恩講 能登震災ブース ―災害につよい教団を目指して―

令和6年能登半島地震から約2年が経とうとする今、被害状況や現状の写真パネル展示を行います。また、被災生活の紹介や出会った教えや人、言葉等を通して、今後想定される災害への備えの必要性をお伝えします。

期 間：11月21日(金)～28日(金) 9時～16時（28日は13時まで）

会 場：境内白洲テント

〈主な展示・企画内容〉

- ・被災状況と避難所での生活、現在の能登等の紹介
- ・非常用トイレの実物展示
- ・防災食や炊き出しの基礎知識と展示



## 報恩講 各種催事



### 見聞『教行信証』坂東本

—親鸞聖人から私たちへのメッセージ—

期間：11月21日(金)～28日(金)

①11時40分～ ②12時40分～、1回約15分

※21日～23日・25日・28日は②のみ

会場：阿弥陀堂

※都合により急遽会場を変更する場合があります。

- 親鸞聖人自筆の『教行信証』坂東本(影印本)を展示し、教学研究所の研究職員が解説します。

### 子ども参拝案内所

期間：11月23日(日・祝)・24日(月)・28日(金)

9時～16時(※28日は12時まで)

会場：境内白洲テント

- 子どもたちに向けた両堂の参拝案内や参拝記念品の配布、工作や紙芝居の上演、絵本の読み聞かせ等を実施します！

### AIAUひろば

期間：11月21日(金)～28日(金)

会場：しんらん交流館1階交流ギャラリー

- 差別や戦争といった苦しみの中で、解放を願う人びとの言葉や絵画、版画等を、パネルや動画で展示しています。

### 刑務所作業製品展示即売会・パネル展

期間：11月21日(金)～28日(金)

9時～16時(※28日は12時まで)

会場：境内白洲テント

- 刑務所作業製品の展示即売会と、真宗大谷派の教誨師や篤志面接委員の取り組みを紹介するパネル展を行います。

### 御正忌報恩講コンサート

日時：11月27日(木) 11時30分～13時30分

会場：しんらん交流館2階大谷ホール

- 各教区の合唱団及び関係学校による仏教讃歌のコンサートを開催します。

出演団体 ◎大谷大学男声合唱団&コールリンデンクラブ(大谷大学男声合唱団OB会) ◎女声合唱団マユラ(北海道教区) ◎岡崎教区合唱団「コールアーバー」 ◎大阪御堂合唱団(大阪教区) ◎光華小学校(京都市)

### 【関係学校】光華女子学園はなやぎキャンパス

期間：11月21日(金)～27日(木) 10時～16時

会場：境内白洲テント

- 光華女子学園所属の幼稚園・小中高・短大・大学による日頃の学内活動のパネル展示をはじめ、ワークショップ等、様々なイベントを行います。

### 【関係学校】大谷中学・高等学校創立150周年記念パネル展

期間：11月25日(火)～27日(木)

会場：境内白洲テント

- 大谷中学・高等学校150周年記念式典当日の様子と150周年関連事業の紹介を通して、大谷の「これまで」と「これから」にふれていただけます。

### 報恩講園児絵画展

期間：11月14日(金)～28日(金)

会場：しんらん交流館1階ロビー

御影堂北側高廊下

京都駅前公益地下ストリートギャラリー

※観覧時間は各施設に準ずる(28日は12時まで)。

- (公社)大谷保育協会加盟園と京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園から募集した園児の絵画を展示します。

### 大谷中学・高等学校 吹奏楽部演奏会

日時：11月23日(日・祝) 11時30分～12時

会場：御影堂北側広縁

- 大谷中学・高等学校吹奏楽部のみなさんによる躍動感溢れる演奏をお楽しみください。

### 東本願寺たかくらこども園園児活動発表会

日時：11月25日(火) 11時～12時

会場：真宗本廟視聴覚ホール

- 園児たちが歌やダンスを披露します。

### (公社)大谷保育協会京都支部代表園児による

### 報恩講合同参拝・公開保育

日時：11月21日(金) 11時～12時15分

会場：真宗本廟視聴覚ホール

- 親子で取り組むレクリエーションがほほえましい公開保育に、ぜひお越しください。

## 渉成園 秋の夜間特別拝観

渉成園では、夜間ライトアップを実施しています。

報恩講にお参りの際には、あわせて夜の渉成園もお楽しみください。

期間：11月15日(土)～11月30日(日)

夜間開園時間：17時30分～21時30分(最終受付21時)

夜間特別維持寄付金：1,000円以上(高校生・中学生500円以上、小学生以下無料)

※日中は通常通り9時～16時開園(最終受付15時30分)です。【お問い合わせ】 本廟部・参拝接待所  
TEL：075-371-9210



## 御影堂門(国指定重要文化財) 楼上一般公開

御影堂門楼上一般公開を行います。

期 間：11月21日(金)～28日(金)

見学時間：10時～16時30分(最終受付16時)

※28日は13時まで(受付終了12時30分)

※都合により時間を変更する場合があります。

受 付：御影堂門下 寄付金：1,000円(高校生以下500円)



## 東本願寺・別院報恩講 スタンプラリー

東本願寺と別院の報恩講にご参拝いただきたく「東本願寺・別院報恩講スタンプラリー」を開催します。東本願寺では、報恩講期間中、境内白洲総合受付にスタンプを設置し、台紙を配布します。



別院にお参り  
しよう!



## 真宗教団連合主催

## 真宗10派本山報恩講法要巡り (スタンプラリー)

10派全本山  
参拝の方には  
記念品を贈呈。  
ぜひご参加  
ください。

真宗教団連合主催で、宗派を超えた「真宗10派本山報恩講法要巡り(スタンプラリー)」を開催しています。東本願寺では、11月21日～28日の報恩講期間中、境内白洲総合受付にてスタンプを設置し、台紙も配布します。



※法要巡りの詳細、各派の報恩講の日程は「真宗教団連合ホームページ」をご覧ください。

## 〈おてらおやつクラブin 東本願寺〉

皆様からの「おそなえ」をお預かりし、真宗本廟に「おそなえ」いたします。経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要としている子どもたちにお届けし、貧困問題への支援を行います。皆様のご協力をお願いいたします。



\*開催期間 2025年11月21日(金)～12月15日(月)

\*対象物 お米、お菓子、乾麺、レトルト食品、飲み物等の食品類／洗剤等の生活用品

※食品類は、賞味期限が2026年1月20日以降のものをお願いします。

※対象外：お酒類、生鮮食品、衣料品

\*受 付 ①しんらん交流館 1階ロビー ※11月21日～12月15日(12月2日・9日は休館)

②子ども参拝案内所 ※11月23日・24日9時～16時・11月28日9時～12時

\*お問い合わせ 青少幼年センター (TEL:075-354-3440・平日9時～17時)

※「10月末寺院・教会定期直送便」にておてらおやつクラブのフリーマガジン『てばなす』を同梱しています。

# ハンセン病はいま

333

## 解放運動推進本部

松丘保養園（青森県青森市）の自治会活動や、全国ハンセン病療養所入所者協議会（二療協）事務局長を務められた故・藤崎陸安<sup>みづやす</sup>さんは、入所者の生活保全やハンセン病問題に関わる啓発活動の第一線で活躍されてきました。その藤崎さんが事務局長となられる前から、松丘保養園で親交が深かった東北教区の本田雅章<sup>みやあき</sup>さんに、藤崎さんとのエピソードを通して、いま伝え残したいことについて執筆いただきました。

### 継続から継承へ

#### ―藤崎陸安さんとの出会いを通して―

東北教区理念寺住職 本田 雅章

旧奥羽教区（現在の東北教区）の有志で松丘保養園を初めて訪問したのは、「らい予防法」廃止直前の一九九六年三月だったと記憶しています。最初は園長から、ハンセン病のこと、患者や家族に対する差別のこと、園での生活のことなどを聞かせていただきました。そして、この問題をもっと深く学ぶためには園の入所者のお話も聞いてほしいとのことで、自治会を紹介していただきました。

後日、自治会の会長・副会長・執行委員の方々のお話をうかがう機会を得て自治会を訪

問したのですが、その時の副会長が藤崎陸安さんでした。当時の自治会長は後に「全療協」会長となる伊藤文男<sup>ふみお</sup>さんで、藤崎さんはやがて「全療協」事務局長となり、今にして思えば、松丘保養園自治会には錚々たるメンバーがいたことになりました。藤崎さんは、自分の手を見せながらハンセン病のことを話され、故郷に帰りたくても親族のお葬式でさえ出席できなかったことなどを教えてくださいました。帰り際には、自治会の書庫にある数冊の本を渡されました。おそらく、もっとハ

ンセン病問題について学んでほしいという藤崎さんの願いがあったのだと思います。

そこから松丘保養園との交流が始まるのですが、園を訪問する際には、最初に必ず自治会に寄るようにしていました。自治会室ではいつも笑顔で迎えていただき、時には私たちを自治会に来てくれる園の職員の人たちにも紹介してくれました。外部からの人間を温かく迎え入れてくださったのは、より開かれた松丘保養園や自治会をめざして、少しでも多くの方にこの問題を理解してほしいと思われていたからなのではないでしょうか。その証拠に、藤崎さんは青森県内や北海道などの学校からの講演依頼を多数受けられており、当時の奥羽教区の交流会でも何度も講演いただきました。すべてはハンセン病問題を正しく理解してほしいということからだと感じています。

そんな藤崎さんでしたが、二〇〇一年に国がハンセン病国賠訴訟の控訴を断念し、熊本地裁判決が確定した日に、全国の自治会長が集まっている場所で、たまたまそこにいた私を見つけて隣に座り、訴訟に対する一人の回

復者としての思いと自治会長としての思いの葛藤を吐露されました。「回復者としての自分は訴訟には前向きに参加したいのだが、まだ訴訟に対して前向きに考えることができない入所者もいる。その人たちのことを思うと、自治会を預かる身としては、すべての入所者を引き連れて訴訟には参加できなかった」ということでした。入所者の中には、国の責任を問うことよりも、国のおかげで自分たちは療養所で生活できているという考えをお持ちの方もいらっしやいました。自治会長としての苦悩を語られたことは、私にハンセン病問題の根深さを教えてくださったのだと受けとめています。

その後も藤崎さんから、邑久高校新良田教室の生徒だった頃は野球が大好きな少年だったことや、通っていた教会でオルガン奏者であったこと、また「全療協」の前身の時代から東京の多磨全生園にある本部に何度か出向してハンセン病患者への差別と闘ってきたことなど、いろいろなお話を聞かせていただきました。新良田教室の同窓会の会場へ突然参加させてもらったこともありましたが、同窓生の方々に私たちを紹介してくださり、多感な高校時代を過ごしたことなどを教えていただき、懐かしく思い出しています。

当時、松丘保養園には「楓音楽クラブ」という楽団がありました。かつては全国の療養

所から入所者の楽団が集まって演奏会をする音楽交流会が年に一回開かれていたのですが、全療養所で唯一、松丘保養園だけに楽団が残っていることを聞きました。私もメンバーとして参加させていただくことになり、藤崎さんはオルガン奏者ということでキーボードを担当していました。

「楓音楽クラブ」は、二〇〇五年五月九日の「第三十回春の歌まつり」をもって解散に



最後の春の歌まつりで演奏前に挨拶をする藤崎さん

なるということ、その三月前の二月頃から毎晩練習をして、終わったその日の反省会を行っていました。

今でも松丘保養園でお住まいだった一般寮のそばを通ると、藤崎さんが声をかけてくれるのではないかと思うことがあります。いつも笑顔で迎えてくださったお顔を思い出すたびに、藤崎さんが、ハンセン病問題への正しい理解を通して、そこからハンセン病回復者や家族に向けられた差別をなくしていきたいと願っておられたことを感じずにはいられません。その願いを引き継ぎ、一人でも多くの方に届けて繋いでいかなければならないと思っています。

音楽の話を通して交流を深められたのは、私にとって一番の思い出です。高齢化にともなう解散ということですが、この年から参加させてもらった私はとても寂しく思いました。藤崎さんは一九四三年生まれですので、私たちと交流があった頃はまだ五十代で、今の自分よりも若かったのだと今更ながら感じています。

この後、藤崎さんはその年の九月に当時の

「全療協」事務局長の神美知宏さんに請われて本部に向かい、東京暮らしをされることとなります。それからは藤崎さんが松丘保養園に來られた時や、私が多磨全生園を訪問する時に、たまに顔を合わせてお話をする程度になっしまいました。藤崎さんが常に心配されていたのは、松丘保養園の入所者のことだったと思います。

# 青少幼年センターニュース

## 青少幼年センター

ホームページ <https://jodo-shinsu.info/oyc/>

YouTube 青少幼年センターチャンネル



### 修学旅行生参拝案内

2025年5月9日から6月8日(8時から11時)までの間、全国から京都へ修学旅行に  
来られた中高生を対象に、真宗本願御影堂・阿弥陀堂の参拝案内を行いました。

この期間は1年の中でも比較的修学旅行生が多い時期で、特に午前中は京都駅から市内観  
光へ出発する修学旅行生たちが真宗本願の前を通る時間帯です。スタッフが御影堂門や阿弥  
陀堂門の前で、班別行動をしている修学旅行生に声をかけ、両堂並びに毛綱等の案内をし  
ました。

#### ■両堂の雰囲気を感じ取り、真宗の教 えを伝える

御影堂門より境内に入ると、御影堂と阿弥  
陀堂の大きさに驚く修学旅行生たち。堂内  
に入るときに、スタッフが軽く頭礼をする  
と、修学旅行生たちも自然と頭礼する様  
子がうかがえました。

宗祖親鸞聖人の御真影の真向かい、阿弥陀  
如来の真向かいに座って静かに手を合  
わせるスタッフが「もういいかな」と  
修学旅行生たち



阿弥陀堂での説明

ちを振り向くと、まだ丁寧に手を  
合わせ続けている子もいる。その  
後はしばらく、ス  
タッフそれぞれ  
が伝えたい真宗  
の教えを自分な  
りの表現でお話  
しました。

旅行生たちに話すと、自分ごとのように長い  
髪の毛を触ってみる子もいました。どんなこ  
とのために自分は髪の毛を差し出すことがで  
きるのだろうか。それともできないのだろうか。  
そんなことをじっくり一人ひとりが考え  
てみた時間だったと思います。



毛綱の前で両堂再建の歴史を伝える

#### ■毛綱等、両堂再建への苦難

「堂内にあ  
るような大き  
な柱を運ぶた  
めに、丈夫な  
綱が必要だっ  
たので、女性  
の長い髪の毛  
を編み込んで  
作った毛綱が  
ある」。そん  
な説明を修学

## ■修学旅行の1つの思い出に

全国各地からはるばる京都にやってきた修学旅行生たち（主に中学生）に、「お寺を見学する」という思い出だけではなく、「お坊さんにお寺の案内をしてもらった」という思い出も持って帰ってほしい。まずはスタッフと修学旅行生たちとのコミュニケーションを大事にし、案内の合間には部活動の話、趣味の話、地元の名産の話と会話を楽しみ、案内終了後には記念品を渡して、「気を付けて修学旅行の続きにいつてらっしゃい」と手を振って別れました。

修学旅行生たちの中には、お寺の建物に興味がある子やない子、それぞれにいましたが、阿弥陀仏の教えそのものを聞くととなると、自分ごとのように熱心に聞いてくれた子が多かったように思います。

「修学旅行で真宗本廟にお参りをした」、そのことをまた大人になってからいつか思い出して、身近に南無阿弥陀仏を感じていただければと思います。

来年もこの「修学旅行生参拝案内」を通して、一人でも多くの修学旅行生たちに真宗本廟の雰囲気ふれていただきたいと願っています。

（青少年センター幹事・松下 蓮）

## 〈修学旅行生の感想文より〉

- 阿弥陀如来はみんなのところにすぐに行けるように立っていることがわかった。四回も火災にあったと聞いてびっくりした。説明がすごくわかりやすかった。
- もともと特殊な修行が必要だった仏教を、誰でもできるようなものにしたのはすごいと思った。
- 御影堂に入って真正面の所で説明を聞いたときに親鸞さまが人間として喜怒哀楽があって生きておられたんだな—と思って少し感動しました。阿弥陀堂で説明を聞いたときは、中がすごく金ピカできれいだな—と思ったと同時に、仏様が立っている理由が人間を助けるためだと聞いてすごく感動して、またここに来たいなと思いました。
- 御堂が複数あり、それぞれの御堂が意味を成しており、昔の人の仏教を信仰する気持ちの強さを知りました。また、今もこうやって寺が残っていて仏教が信仰され続けているのは、仏様とその教えを説いた人々、そしてそれを信じた人々の力によるものだと思います。
- 東本願寺は他の寺や神社と違い、祈願をするのではなく、自分を確かめにくる場所ということが分かった。あまりにも大きくて広い建物がとてもすごかった。
- 楽しかった。あかほんくんが推せる。また来たいと思った！
- 親鸞さまがかっこよかった。お寺が楽しかったのは初めてだったので、とても思い出になりました♡いただいた鸞恩くんのクリアファイル、宝物にします♡ありがとうございました。
- 本日の貴重な話は、お寺に参拝するだけでは分からないことが多く、全て自分のためになるようなものでした。私はキリスト教の学校から来ましたが、やはり寺というものは、どこか落ちつくもので、自分が日本人だと実感しました。本当にありがとうございました。

# 児童教化のページ

シリーズ 真宗大谷派における児童教化

—子どもたちとともに、今までもそしてこれからも—

ち か い

- 一、私たちは、仏の子どもになります。
- 一、私たちは、正しいおしえをききます。
- 一、私たちは、みんな仲よくいたします。

大谷派児童教化連盟

594

児童教化という言葉は、日曜学校や子ども会、そのような活動の中から出てきました。児童教化と言うから児童を教化すると思いますが、児童に教化されるのが児童教化です。児童に教化される者として、私たちは小さい人の前に立つ。ただ、小さい人たちに許されて私たちは立つわけです。けれど児童を教化しなければと、間違うのです。これは坊さんの業です。この業はなかなかとれません。欲の中の一番重くて深い名譽欲。これがチラチラ出てくると、やはり教化しなければとなる。先ほど松扉覚委員長の挨拶の中で「小さい人から言われて気づいた」とありました。教化されて、そこから立ち上がったのですね。教化された人は立ち上がるのであります。教化する人は座り込みます。

## はじめての児童教化

2025年5月29日から30日にかけて、「大谷派児童教化連盟指導者研修会」が開催されました。講師の近藤章氏のおはなし(要旨)を掲載します。

九州教区西心寺 近藤 章

教区や教団はよく「ひとりからはじめる」といいますが、その「ひとり」とは誰だと思えますか。私です。自分自身が「ひとり」なのです。ひとりからはじめるということは、ひとりになるということでしょう。ご法事に小さい人がいたら、ちよつと前に来てと言って語りかける。実践活動が展開されていく。何かこう、会を作って、集めてということを考えるが、集めるのではない、こちらが小さい人たちの前に立つ姿勢をいただくこと、学ぶこと、それが「ひとりからはじめる」ということなのでしょう。私たちはいつでも、どこでも、どんなところでも児童教化はできるのです。

昔、大谷派児童教化連盟の総会の時に、居多ヶ浜(新潟県)の古海君に「この頃何しとる」と聞くと、「いや、

日曜学校がつぶれた。子どもが来なくなっただ」と。「あ、そう。で、どうしたの?」と聞き返すと「毎日日曜学校しとる。お寺の門の前に立つて学校に行く子どもたちに、おはよう」と挨拶してる。これが僕の日曜学校や」と話してくれました。素敵だなと感動しました。それを聞くまでは、私もどこかで小さい人を集めて何かやる。遊びに行く。そういうことが頭の中にいつもありまして。でも、古海君の言葉を聞いて、そんなことではないと気づきました。それから私は月忌参りやご法事に行くと、小さい人が参っている時は「ちよつと前においで。あなたは何年生? 三年生。それじゃあ今日は三年生のあなたにお話しようね」と。小さい三歳、四歳の子でも「あなたいくつ?」じゃあ今日はあなたにお話しようね。お名前なんて言うの?」と話し始めます。どんな小さな子でも、手を合わせて「南無阿弥陀仏」と言う。それだけ伝えることができればいいのです。三歳の子にも、四歳の子にも、難しい話はありません。金子大榮先生は「青年 愛読する 古典を持つこと 少年 自

然に親しみ 永遠なるものを 思慕すること 幼年 おはよう お休みを 忘れぬように」と教えてくださっています。このことだけでも伝えたいものです。そして忘れていないかと。

阿弥陀経を皆で読むのですが、中学生くらいになると「阿弥陀経の中に、ここから西の方、十萬億のところに仏土あり。と書いてあるけれど、仏土ってどこやらか?」と問いかけます。すると「西ってどっち?」とか問答が始まります。それを聞いて「具体的に考えてみたら」と語りかけます。中学生くらいになると「西にどんな行くと自分が立っているところに帰ってくる」と。大地の上は今現在立っている。それをほるか遠い所とか、ワヤクチャにしているのは私たちです。「共命鳥」の話をしたり、いろんな例話が經典の中にはいっぱいありますね。それを通して伝え味わねばいい訳でしょう。一緒に聞く姿勢があれば、目の前に座っておられる小さい人の姿が、私たちに何か伝えてくれているのではないのでしょうか。それが児童教化です。特別なものはいらない。目の前にい

るこの人が何を語りかけているのかと、思う心が動けば、その時が「おもいたつところのおこるとき、すなわち摂取不捨の利益にあずけしめたまうなり」です。おもいたつところが起こった時、必ずそこに開けてくる世界があるのです。

研修会は「はじめての児童教化」というテーマになっています。初心を思い出してみようということですが、一番大切なのは、〃やりたい〃と思う心、〃出会いたい〃という心です。何に出会いたいのか。小さい人に出会いたいということだけでなく、本当に自分と出会いたい。そういう心が湧いたならば、必ずそこには相手がいるはずです。相手がいないければ、私の心は見えません。

本当に小さい人たちに育てられると、人は優しくなるのでしょね。私はなれなかったけれど、自分では優しいつもりですが。小さい人と交わっていくと優しくなれます。交わらず、教えようとするとおかしくなる。交わるということは、一緒に生活していくということです。そうすると優しくなります。私たちを育ててくださるのは小さい人たちです。

「しらざるときのいのちも、阿弥陀の御いのちなりけれども、いとけなきときはしらず、すこしこざかく自力になりて、わがいのちとおもいたらんおり、善知識、もとの阿弥陀のいのちへ帰せよとおしうるをききて、帰命無量寿覚しつれば、わがいのちすなわち無量寿なりと信ずるなり」(安心決定鈔)『真宗聖典 第二版』一一四七頁

この言葉は、実は私たち児童教化に携わる、また児童教化を志す人にとって非常に大事な言葉です。「すこしこざかく」というのは私たちです。「しらざるときのいのちも、阿弥陀の御いのちなりけれども、いとけなきときはしらず」。小さい人たちは言葉でそれを表現することができない。それがこざかしくなると、それを解釈する。自分の「いのち」と自分のものにしてしまう。小さい人たちはそのままです。もう「いのち」そのままに生きている。そのことを、聖典の中できちっと押さえてくださっています。

また、宗正元先生は「踏みつけられた人間のことを忘れないようにしましょう」と呼びかけてくださいました。

私たちは小さい人たちをひよっとしたら踏みつけているのかもしれない。抑え込んでいるのかもしれない。私は、彼らや彼女らの悲しみや、そういう苦しみを一緒に考えていけるような人に成りたいと思います。そのためには、まず私が、私たち一人ひとりが教えを聞く人になりましょう。児童教化連盟とは、そういう人たちが集う場所です。本当に小さい人と共に歩もうとする人の集う場所です。そして、教化とは自分が感動したこと、いいなあと思ったものを手渡していくこと。それは、誰でも、どこでもできます。小さい人に許されてそばに居させてもらう、私たちの先生は小さい人ですから。



指導者研修会 近藤章氏

# 今月のお寺

229

## 浄源寺

(大垣教区第五組)

岐阜県大垣市大村一丁目三六〇番地

住職 熊谷 岳久

### みんなの居場所

— 地域に必要とされるお寺を目指して —

世代を超えて多くの人が集い、皆の居場所となる——浄源寺では、月に二回、そのような賑やかな日が訪れます。門徒の方々や、地域の人々にとって、お寺とはどのような場所なのでしょうか。



住職の岳久さん(左)と坊守の裕子さん(右)

浄源寺では、約三年前より、高齢者を対象とした「シルバーリハビリ体操教室」が始まりました。きっかけは、坊守の裕子さんが義両親の

か。



市民に開かれたシルバーリハビリ体操教室

そして、「こんにちは」(大人の部)の開設から約一年後、「子どもが気軽に訪れ、頼ることができる場所をつくりたい」との願いを込めて、「子ども

の部」が始まりました。

「子どもの部」は、子どもたちが朝昼ごはんをみんなで食べられる場所を提供することを主な目的に、土日や長期休暇中に開かれています。例えば夏休みの子どもの部では、ごはんを食べるだけでなく、お勤めの稽古をはじめとした寺の活動や、学習支援といった子ども福祉の取り組みを行うなど、お寺の活動と地域福祉が一つの場で両立されています。

健康を気遣い、体操指導の資格を取得されたことでした。その際の講師から「地域の方々にも活動の輪を広げてほしい」という思いを託され、門徒に限らず、地域の高齢者も参加できる教室が開かれるようになったのです。

この体操教室は現在、市民活動団体として成長し、毎月多くの方々が参加する場所となりました。教室は開催日の九日・二十八日にちなんで「こんにちは」と名付けられ、現在では「大人の部」と呼ばれています。



みんなで食卓を囲む朝ごはん

でなく大人も一緒に参加し、世代を超えたつながりを育む場にもなっています。

普段は朝ごはんをとらない子どもたちが、「ここに来ると楽しくごはんが食べられる」と話してくれることに、活動の意義や手応えを感じてみると、裕子さんは語られました。さらに今年からは「同朋の会」も発足し、お勤めの稽古や座談会、仏教にまつわる話などを通じて、主に五十代の方々を中心に語り合う場が設けられています。

お年寄りも、子どもも、気軽に頼ることができる場所。子どもの頃に親しんだお寺が、大人になってから懐かしさとともに再び訪れる場所であってほしい——そんな願いのもと、浄源寺は、開法の間、地域福祉の場、そして子どもと高齢者をつなぐ場として、地域の人々のすぐそばにあり続けています。

浄源寺 Instagram

<https://www.instagram.com/jogenjiogaki/>

(大垣教区通信員・内田篤宏)

# 総合相談室

ご利用になる皆様の個人情報に最大限の注意を払い運営しておりますので、安心してお気軽にご相談ください。  
なお、宗務所に面談にお越しになる際は事前にご予約をお願いします。

● 組織部(教務) 総合相談室 TEL: 075-371-9184 ● 結婚に関する問い合わせは vivaha@higashihonganji.or.jp



## 結婚相手求む

### ● 寺院に迎えたい 〈家族構成〉

|      |    |     |       |
|------|----|-----|-------|
| 神奈川県 | 男性 | 44歳 | 両親    |
| 富山県  | 男性 | 44歳 |       |
| 岐阜県  | 男性 | 39歳 | 両親・妹弟 |
| 岐阜県  | 男性 | 49歳 |       |
| 岐阜県  | 男性 | 54歳 | 母・弟   |
| 岐阜県  | 男性 | 39歳 |       |
| 愛知県  | 男性 | 55歳 |       |
| 愛知県  | 男性 | 41歳 |       |
| 愛知県  | 男性 | 49歳 |       |
| 愛知県  | 男性 | 46歳 |       |
| 愛知県  | 男性 | 39歳 |       |
| 三重県  | 男性 | 44歳 | 両親    |
| 三重県  | 男性 | 53歳 | 両親    |
| 大阪府  | 男性 | 38歳 | 両親    |
| 大阪府  | 男性 | 43歳 |       |

|     |    |     |     |
|-----|----|-----|-----|
| 北海道 | 女性 | 37歳 |     |
| 山形県 | 女性 | 34歳 | 両親  |
| 新潟県 | 女性 | 38歳 |     |
| 富山県 | 女性 | 50歳 |     |
| 石川県 | 女性 | 35歳 |     |
| 福井県 | 女性 | 39歳 | 両親  |
| 岐阜県 | 女性 | 40歳 | 両親  |
| 愛知県 | 女性 | 30歳 |     |
| 滋賀県 | 女性 | 28歳 | 母・妹 |
| 大阪府 | 女性 | 38歳 | 両親  |
| 大阪府 | 女性 | 39歳 |     |

### ● 寺院に入りたい

|     |    |     |
|-----|----|-----|
| 東京都 | 男性 | 50歳 |
|-----|----|-----|



## 入寺希望

|       |    |     |                   |
|-------|----|-----|-------------------|
| 秋田県   | 男性 | 58歳 | 有教師・東北教区希望        |
| 東京都   | 男性 | 56歳 | 有教師               |
| 東京都   | 男性 | 42歳 | 有教師               |
| 東京都在住 | 男性 | 43歳 | 有教師               |
| 東京都在住 | 男性 | 50歳 | 有教師・東京教区希望        |
| 埼玉県   | 男性 | 47歳 | 有教師               |
| 新潟県   | 男性 | 45歳 | 有教師・新潟県希望         |
| 石川県   | 男性 | 66歳 | 有教師・富山、能登、金沢教区希望  |
| 岐阜県   | 男性 | 75歳 | 有教師・岐阜県希望         |
| 愛知県   | 男性 | 70歳 | 有教師・愛知県、岐阜県、三重県希望 |
| 京都府在住 | 男性 | 53歳 | 有教師               |
| 大阪府   | 男性 | 67歳 | 有教師・大阪府、奈良県希望     |
| 大阪府在住 | 男性 | 53歳 | 有教師・大阪教区希望        |
| 鹿児島県  | 男性 | 46歳 | 有教師               |



## 法務員・ 寺務員求む

北海道／東京都／埼玉県／埼玉県 證大寺／神奈川県／新潟県／新潟市 真宗寺／  
新潟市 超願寺／岐阜県／愛知県／大阪府／長崎県 法務員募集 詳細は面談で



## 後継者求む

|      |       |                       |
|------|-------|-----------------------|
| 北海道  | 有教師   | 50歳まで                 |
| 北海道  | 有教師   | 25歳まで                 |
| 北海道  | 有教師   | 要運転免許・40代まで           |
| 北海道  | 有教師   | 性別、単身・家族連れ不問・69歳まで    |
| 秋田県  | 有教師   | 性別、単身・家族連れ不問・50代くらいまで |
| 山形県  | 有教師   | 性別、単身・家族連れ不問・50代くらいまで |
| 宮城県  | 有教師   | 単身・家族連れ不問             |
| 長野県  | 有教師   | 50代まで                 |
| 長野県  | 有教師   |                       |
| 新潟県  | 有教師   |                       |
| 新潟県  | 有教師   | 家族連れ・40代まで            |
| 新潟県  | 有教師   | 65歳くらいまで・要運転免許        |
| 東京都  | 有教師   | 50代まで・要運転免許           |
| 富山県  | 有教師   | 家族連れ・50代くらいまで         |
| 富山県  | 有教師   | 家族連れ・40代くらいまで         |
| 富山県  | 有教師   | 70歳くらいまで・要運転免許        |
| 石川県  | 有教師   | 40代くらいまで              |
| 石川県  | 要運転免許 | 性別、単身・家族連れ不問・50代くらいまで |
| 石川県  | 有教師   | 家族連れ・40代まで            |
| 石川県  | 有教師   | 家族連れ・50代まで            |
| 石川県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 福井県  | 有教師   | 家族連れ・60代くらいまで         |
| 岐阜県  | 有教師   | 20~40代まで              |
| 岐阜県  | 有教師   | 家族連れ・50代まで            |
| 愛知県  | 有教師   | 家族連れ・40代くらいまで・要運転免許   |
| 愛知県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 愛知県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 愛知県  | 有教師   | 30代くらい                |
| 愛知県  | 有教師   | 家族連れ・40代くらいまで         |
| 愛知県  | 有教師   | 45歳まで                 |
| 三重県  | 有教師   | 男性・40代まで              |
| 三重県  | 有教師   |                       |
| 滋賀県  | 有教師   |                       |
| 滋賀県  | 有教師   |                       |
| 滋賀県  | 有教師   | 50代くらいまで              |
| 滋賀県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 滋賀県  | 有教師   |                       |
| 滋賀県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 滋賀県  | 有教師   | 家族連れ・40代まで            |
| 滋賀県  | 有教師   | 要運転免許・65歳まで           |
| 福岡県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 福岡県  | 有教師   | 家族連れ・60代くらいまで         |
| 長崎県  | 有教師   | 家族連れ                  |
| 鹿児島県 | 有教師   | 独身・30代まで              |
| 鹿児島県 | 有教師   |                       |



## 法務員・手伝い希望

|     |    |               |
|-----|----|---------------|
| 長野県 | 男性 | 有教師           |
| 三重県 | 男性 | 有教師 愛知県希望     |
| 滋賀県 | 男性 | 有教師 滋賀県・京都市希望 |
| 福岡県 | 男性 |               |



↑ 「後継者相談」「入寺希望」について、宗派公式ウェブサイトでも情報登録並びに情報提供に関するお申し込みを受け付けています。

念珠かけた 歸命の 姿尊かり

昔から良品安価で御信用いただいて居る

東本願寺前

念珠  
製造販売

# 北川与三兵衛商店

千六〇八二五 京都市下京区下珠数屋町通烏丸東入

電話 〇七五—三七一—二五五六番  
FAX 〇七五—三五二—三三六六番

御法儀  
要式  
御披  
露記  
結婚  
祝用  
念用

---

内仏打敷、中啓  
散華焼香  
經本仏具  
其他仏様用百貨

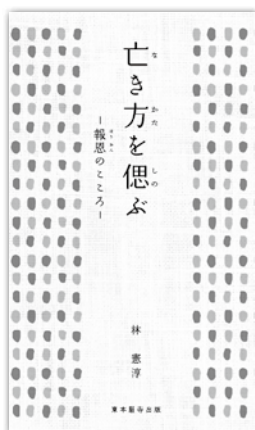
弊店は真宗正式念珠を代々伝承製作の老舗



仏事冊子  
シリーズ

亡き方を偲ぶ

—報恩のこころ— 林 憲淳 著



亡き方の願いに報い、自らの人生を見つめ直す「報恩のこころ」を基礎としたご法事のあり方を尋ねる小冊子。

新書変形判／16頁  
定価：110円(税込)

**当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。**



東本願寺出版

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

詳しい書籍情報・試し読みは

東本願寺出版

検索

愛知県 長泉寺様

本堂屋根改修工事(チタンカナメ段付本瓦葺き)

想いを匠技でかたちにする

# カナメの社寺建築



株式会社

# カナル

社寺新築・改修工事  
チタン屋根 / 地震台風対策  
太陽光発電など

本社

栃木県宇都宮市平出工業団地38-52

TEL.028-663-6300

名古屋支店

TEL-0586-71-2882

岡山支店

Tel. 086-245-2541



ものづくり日本大賞受賞  
〈経済産業大臣賞〉  
「チタン カナメ段付本瓦葺き」



**GOOD DESIGN**  
カナメ 千タン段付本瓦葺き

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

Be Real  
寄りそう知性

大谷大学

OPEN CAMPUS  
12/14 Sun ★★大谷大学の  
Realな学びを  
体験しよう!!  
高校1、2年生必見!!

## 大学紹介



## キャンパスツアー



## 学部別学び紹介

ご家族での参加も  
大歓迎です!

詳細・事前申込はこちらから➡



## 公募制推薦入試【後期】11月17日(月) 出願開始!

出願期間: 11月17日(月)~12月5日(金)

試験日: 12月13日(土)

合格発表日: 12月19日(金)

入学試験の詳細や  
資料請求はこちらから ➡

## 2025年度 大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要

【日時】 11月22日(土) 10:00~12:00

【会場】 大谷大学 講堂

【記念講演】 延塚 知道 氏(大谷大学名誉教授)

【講題】 妻の死に教えられたこと —『観経』の大切さ—

〒603-8143京都市北区小山上総町 入学センター

TEL:075-411-8114 FAX: 075-411-8160

E-MAIL:nyushi-c@sec.otani.ac.jp



大谷大学

大学HPはこちらからご覧になれます ▶





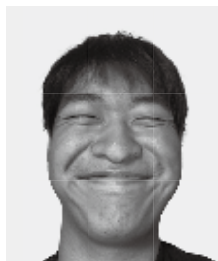
# 同朋大学

～共なるいのちを生きる～

## 私と 同朋大学

在 学 生 の 声

No.11



齋藤 奏太

文学部 仏教学科2年

### 出会いが学びを深くし、心が育つ。

私は特に仏教とは縁のない家の生まれでしたが、歴史はもともと好きでした。ただ、同朋大学のことを知るまでは仏教に興味がありませんでした。しかし、オープンキャンパスの模擬授業などで、同朋大学や仏教のことを知り、仏教の学びを深めようと思い同朋大学に入学しました。

入学当初は留年しないだろうか、しっかり学んでいけるのか、講義についていけるのか、などの不安がありました。しかし、同朋の先生方は、丁寧に指導くださり、また質問や悩みも相談しやすく、今はとても充実した学びができています。また、先生方だけでなく、先輩方や友達など誰とでも気兼ねなく話すことができるのも特色だと思います。放課後は所属クラブで友達や先輩方と楽しく過ごしています。

同朋大学は学びを深めやすく、毎日楽しく過ごせる大学です。

## 2026年度 入学者選抜試験日程

<文学部・社会福祉学部>

| 選抜試験                                         | 出願期間                                                      | 試験日       | 合格発表      |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------|-----------|
| <b>総合型選抜</b><br>(オープンキャンパス参加型2期)<br>スポーツ技能2期 | 11月1日(土)～11月7日(金)[消印有効]<br>〈窓口受付:11月10日(月) 10:00～16:00〉   | 11月15日(土) | 12月1日(月)  |
| <b>編入学1期</b>                                 |                                                           |           |           |
| <b>総合型選抜</b><br>(自己推薦1期)                     | 11月17日(月)～12月2日(火)[消印有効]<br>〈窓口受付:12月3日(水) 10:00～16:00〉   | 12月7日(日)  | 12月12日(金) |
| <b>シニア選抜1期</b>                               | 11月17日(月)～11月26日(水)[消印有効]<br>〈窓口受付:11月27日(木) 10:00～16:00〉 |           |           |

<別科 仏教専修>

| 選抜試験          | 出願期間                                                      | 試験日      | 合格発表      |
|---------------|-----------------------------------------------------------|----------|-----------|
| <b>別科選抜1期</b> | 11月17日(月)～11月26日(水)[消印有効]<br>〈窓口受付:11月27日(木) 10:00～16:00〉 | 12月7日(日) | 12月12日(金) |

※上記以外の試験制度もあります。詳しくは同朋大学Webサイトをご覧ください。

## 同朋大学

E-MAIL:nyushi@doho.ac.jp

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町 7-1

TEL:052-411-1247

FAX:052-411-4124

WEB:https://www.doho.ac.jp/

■文学部  
仏教学科／人文学科

■社会福祉学部  
社会福祉学科  
心理学専攻／社会福祉専攻／  
子ども学専攻

■大学院  
人間学研究科 仏教人間学専攻  
仏教文化分野／人間福祉分野／臨床心理分野

■別科  
仏教専修

## 『坂東本 顯淨土眞實教行證文類』

## カラー影印縮刷本



11月下旬発売  
予約受付中

## 掲載内容（四分冊）

- 〈一〉「教巻・行巻」150頁
- 〈二〉「信巻」182頁
- 〈三〉「証巻・眞仏土巻」138頁
- 〈四〉「化身土本巻・化身土末巻」244頁

聖教編纂室 編

A4変形判（縦30.5cm×横23cm）  
オールカラー・箱付き

## ご好評につき

価格：99,000円（税込・送料込）→ 先着100冊に限り79,200円（税込・送料込）

お申し込みはFAX・はがき・メール・オンラインショップから

※寺院・教会割引は適用されません。

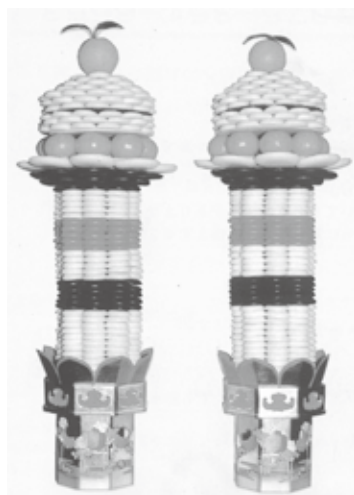


東本願寺出版  
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

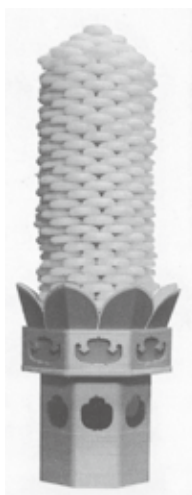
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
E-mail books@higashihonganji.or.jp FAX.075-371-9211

東本願寺出版 検索

## 新案 須弥盛（オリジナル商品）



杉盛に簡単に  
組替えられます



## 新案須弥盛の特徴

「新案須弥盛」は、お華束を須弥型や杉盛に盛るための仏具です。「新案須弥盛」は芯棒を中心に食品サンプルと同じ素材で出来た餅板を重ねて出来ていますので、間にお餅を挟んだりしても違和感がありません。どこの部分までを仏具として使用されても、そのすべての使い方に対処出来るように設計されております。

「新案 須弥盛」の詳細は「京仏具犬塚ホームページ」でどうぞ



御誂えの京佛具を真心こめてつくる店

京佛具犬塚

〒600-8150 京都市下京区東洞院通上珠数屋町角

☎075-351-6553 FAX075-341-0414

御連絡はフリーダイヤル ☎0120-20-6553 でどうぞ

真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告

〔研修部〕

▼真宗本廟奉仕(25・9月)▲

| 計19団体<br>284名           | 第9回<br>飯田<br>草田<br>ねすく<br>短期<br>蓮奉仕団 | 教区                     |                         |                        |                        |                         |                         |                         |                        |                         |                         |                       |                       |                         |                         | 組                      | 団体名                   | 引率者名                    | 人数 | 期間 |         |          |
|-------------------------|--------------------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|----|----|---------|----------|
|                         |                                      | 九州                     | 九州                      | 九州                     | 大阪                     | 京都                      | 京都                      | 京都                      | 三重                     | 名古屋                     | 岡崎                      | 大垣                    | 福井                    | 福井                      | 能登                      |                        |                       |                         |    |    | 富山      | 新潟       |
|                         |                                      | 長崎                     | 京都                      | 京都                     | 第20                    | 長浜第15                   | 近江第9                    | 近江第1                    | 三重組                    | 第20                     | 第4                      | 第14                   | 第5                    | 第2                      | 第13                     |                        |                       |                         |    |    | 第1      | 中越13     |
|                         |                                      | 慈光寺同朋会                 | 推進員奉仕団                  | 同朋の会推進講座後期教習           | 同朋の会推進講座後期教習奉仕団        | 同朋の会推進講座後期教習奉仕団         | 真宗基礎講座本廟奉仕団             | 真宗入門講座後期教習              | 「同朋の会推進講座」1部第12次壮年特別伝道 | 門徒会真宗本廟奉仕団              | 真宗基礎講座奉仕団               | 推進員後期教習               | 推進員養成講座奉仕団            | 推進員養成講座後期教習奉仕団          | 養泉寺奉仕団                  |                        |                       |                         |    |    | 後期教習奉仕団 | 同朋の会推進講座 |
|                         |                                      | 山下正樹                   | 和田英昭                    | 藤森志乃                   | 村上匡一                   | 松川真哉                    | 七岡朋子                    | 小嶋哲哉                    | 城徹                     | 藤井恵磨                    | 馬場亮                     | 宮部聡                   | 毘盧合                   | 月輪泰                     | 清水緑                     |                        |                       |                         |    |    | 藤原彰玄    | 加羅田良啓    |
| 8                       | 13                                   | 5                      | 7                       | 5                      | 20                     | 25                      | 17                      | 33                      | 26                     | 14                      | 9                       | 14                    | 12                    | 13                      | 8                       | 13                     | 35                    |                         |    |    |         |          |
| 9<br>／<br>16<br>／<br>18 | 9<br>／<br>22<br>／<br>3               | 9<br>／<br>22<br>／<br>3 | 9<br>／<br>23<br>／<br>25 | 9<br>／<br>22<br>／<br>4 | 9<br>／<br>22<br>／<br>4 | 9<br>／<br>13<br>／<br>15 | 9<br>／<br>26<br>／<br>28 | 9<br>／<br>16<br>／<br>17 | 9<br>／<br>5<br>／<br>7  | 9<br>／<br>13<br>／<br>15 | 9<br>／<br>26<br>／<br>27 | 9<br>／<br>5<br>／<br>6 | 9<br>／<br>5<br>／<br>7 | 9<br>／<br>26<br>／<br>28 | 9<br>／<br>26<br>／<br>28 | 9<br>／<br>22<br>／<br>3 | 9<br>／<br>5<br>／<br>7 | 9<br>／<br>13<br>／<br>15 |    |    |         |          |

▼縁(25・9月)▲

|      |     |     |
|------|-----|-----|
| 計3期間 | 5団体 | 33名 |
|------|-----|-----|

▼諸研修(25・9月)▲

| 計8団体<br>404名            | 研修・会議名                                             |                       |       |      | 担当部  | 人数     | 期間     |
|-------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------|-------|------|------|--------|--------|
|                         | 伊那西高等学校 東本願寺研修<br>住職 修習<br>2025年度第1回は施設問題学習テキスト講習会 | 飯田女子高等学校 通信制課程 東本願寺研修 | 教 育 部 | 26   | 9/9  | 9/2    | 3/10/1 |
|                         |                                                    | 飯田女子高等学校 東本願寺研修①      | 教 育 部 | 46   | 9/9  | 9/4    |        |
|                         |                                                    | 飯田女子高等学校 東本願寺研修②      | 教 育 部 | 82   | 9/9  | 9/10   |        |
|                         |                                                    | 第5回 前期 教師 研修②         | 研 究 部 | 50   | 9/10 | 10/11  |        |
| 2025年度第1回は施設問題学習テキスト講習会 | 解放運動推進本部                                           | 研 究 部                 | 25    | 9/16 | 9/22 | 3/10/1 |        |
| 伊那西高等学校 東本願寺研修<br>住職 修習 | 飯田女子高等学校 東本願寺研修                                    | 教 育 部                 | 17    | 9/17 | 9/19 |        |        |
|                         | 飯田女子高等学校 東本願寺研修①                                   | 教 育 部                 | 36    | 9/26 | 9/28 |        |        |
|                         | 飯田女子高等学校 東本願寺研修②                                   | 教 育 部                 | 122   | 9/30 | 10/1 |        |        |

## 首都圏教化推進本部（東本願寺「真宗会館」）

〒177-0032 東京都練馬区谷原1丁目3番7号

TEL.03-5393-0810 FAX.03-5393-0814

## 首都圏教化推進本部職員（法務員）募集要項

このたび、首都圏教化推進本部職員（法務員）を下記のとおり募集いたします。

首都圏には、地方から転居されたご門徒が多くおられますが、中には郷里の寺院との関係が失われてしまうケースも近年少なくありません。

そのような状況にあって、首都圏における教化の総合施設である東本願寺真宗会館では、仏事をご縁としながらご門徒と寺院の関係を継続させていくとともに、真宗会館における諸行事をととして真宗の教えを届けていくことが願われています。

熱意を持って、法務をはじめ諸行事に従事いただける方を募集しております。ぜひご応募ください。

- 1 募集人員 若干名
- 2 勤務先 首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）※雇用後、勤務場所の変更はありません。
- 3 勤務 8時30分から17時まで。土曜日、日曜日及び祝日の勤務となりますが、1週間に2日の定例休日を与えます。  
※所定外労働及び休日勤務があります。  
※上記定例休日の他に年次有給休暇、夏期休暇、特別休暇等があります。
- 4 業務内容 東本願寺真宗会館における崇敬・給仕等の業務並びに首都圏における教化推進のための法務 ※雇用後、従事すべき業務の変更はありません。
- 5 雇用期間 2026年4月1日から2029年3月31日まで  
※契約更新する場合がありますが、60歳を超える契約は行いません。また、更新の上限年数はありません。
- 6 試用期間 採用後、3ヵ月間を試用期間とする
- 7 給与 ①初任給 230,000円 ②他に諸手当及び各種保険、役宅あり
- 8 応募資格 ①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者  
②真宗大谷派の教師（2026年4月1日までに修得見込みの者を含みます）
- 9 応募必要書類 ①履歴書・自己紹介書（所定の用紙に自筆のこと）  
②写真（上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと）  
③最終学校卒業証明書又は卒業見込証明書  
④最終学校成績証明書  
※①の所定用紙は、宗務所総務部及び各教務所に備付のもの、もしくは宗派ウェブサイトより印刷したものをを使用すること。  
※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学歴と最高学歴が異なる場合はそれぞれの証明書を提出してください。  
※真宗大谷派教師資格修得見込者については、上記の他「大谷派教師課程単位修得見込証明書」を同封してください。
- 10 採用試験の流れ (1) 応募書類提出  
①提出期間 2025年9月11日(木)から2025年11月18日(火)まで  
②提出先 〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7〈TEL：03-5393-0810（直通）〉  
首都圏教化推進本部（東本願寺真宗会館）法務員募集係  
※書類は、直接持参もしくは郵送（簡易書留可・11月18日必着）のこと（持参の場合、平日9時から17時まで）。  
(2) 適性検査（SPI3・テストセンター形式）  
①受検期間 応募書類提出から2025年11月28日(金)まで  
※応募書類提出後、弊派より受検案内メールを送信します。  
(3) 筆記試験及び個別面接  
①期日 2025年12月9日(火)  
②内容 筆記（真宗・仏教に関する基礎知識等）、声明作法、個別面接  
③会場 東本願寺真宗会館  
※詳細は、応募書類提出期間終了後に通知します。

## 解放運動推進本部

〒600-8164 京都府京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地 真宗教化センター しんらん交流館  
TEL.075-371-9247 FAX.075-371-6171

## 解放運動推進本部 本部要員募集要項

解放運動推進本部では、真宗同朋会運動を基底として、部落差別をはじめとする様々な差別問題から問われる課題を通して、本派の解放運動の推進に関する企画や研修等、その実践にあたっています。

このたび、このような業務の遂行にあたって、本部委員を補佐し、業務に従事いただける本部要員を募集いたします。これまで解放運動推進本部が主催した解放運動推進要員研修会等に参加された方、教区や各地で解放運動に取り組んでおられる方、熱意をもって解放運動に取り組もうとされている方、ぜひ一緒に歩みを進めていきませんか。ご応募をお待ちしています。

- 1 募集人数 若干名
- 2 勤務先 真宗大谷派解放運動推進本部（真宗教化センター しんらん交流館内）  
※雇用後、勤務場所の変更はありません。
- 3 勤務時間・休日等  
勤務時間は、平日午前8時30分から17時までとなります。  
休日は、土曜・日曜・祝日に加え、年末年始休日、年次有給休暇、夏期休暇、特別休暇等があります。  
※所定時間外労働及び休日勤務を必要とする場合があります。
- 4 業務内容 部落差別をはじめとする差別問題への取り組みに関する業務を行います。また、その他必要な業務です。  
※雇用後、従事すべき業務の変更はありません。
- 5 雇用期間 2026年4月1日から2029年3月31日まで  
※採用後、3ヵ月間を試用期間とします。  
※契約更新する場合がありますが、任期満了日において60歳を超えている場合は、再任しません。また、更新の上限回数はありません。
- 6 待遇 基本給 230,000円（昇給あり）  
①諸手当あり（通勤手当、時間外・休日勤務手当、家族手当、一時金等）  
②各種保険あり（健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険）  
③福利厚生あり（借上役宅制度、家賃補助、慶弔見舞金等）
- 7 応募資格 ①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者  
②真宗大谷派教師である者（2026年4月までに修得見込みの者を含みます）
- 8 応募必要書類 ①履歴書・自己紹介書（所定の用紙に自筆のこと）  
②写真（上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと）  
③最終学校卒業証明書又は卒業見込証明書  
④最終学校成績証明書  
⑤レポート（1,200字以上2,000字以内）  
テーマ「真宗門徒として、部落差別をはじめとする様々な差別問題から問われる課題を私はどう受けとめるか」  
※①の用紙は、総務部、解放運動推進本部及び各教務所に備付のもの若しくは宗派ウェブサイトに掲載したものを使用してください。  
※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学歴と最高学歴が異なる場合は、それぞれの証明書を提出してください。  
※真宗大谷派教師資格修得見込者については、上記の他「大谷派教師課程単位修得見込証明書」を同封してください。
- 9 応募書類提出期間及び提出先  
①提出期間 2025年11月4日(火)～12月15日(月)  
②提出先 〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199  
真宗教化センター しんらん交流館内  
解放運動推進本部 本部要員募集係  
※郵送の場合、書留郵便（簡易書留可）にて送付のこと。（2025年12月15日必着）  
※持参の場合、平日8時30分から17時までの受付時間内に提出のこと。
- 10 採用試験期日 ①日時 2026年1月26日(月)  
②内容 筆記試験及び面接試験  
③場所 真宗教化センター しんらん交流館  
※詳細については、応募書類受理後、受験票送付と併せて通知します。

## 教 育 部

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
TEL.075-371-9193 FAX.075-371-9223

## 2026年「教師資格取得準備学習会」募集要項

教師試験検定を受験し、真宗大谷派教師資格の取得を志している方のために、東本願寺「真宗会館」を会場として「教師資格取得準備学習会」を開設しています。

本年は、これまでに教師試験検定に向けての学びを進めてこられた方を対象として、「教師資格取得準備学習会」の受講者を下記のとおり募集いたします。

なお、本学習会は東本願寺出版発行のテキスト(『浄土の真宗』、『改訂 大乘の仏道』、『改訂 教団のあゆみ』、『真宗の儀式』、『真宗大谷派宗憲・宗教法人法』)をすでに学習していることを前提として講義を行います。

- 1 受講資格 教師資格を有しない18歳以上の真宗大谷派僧侶
- 2 定 員 20名(先着順)  
 ※申込が12名に満たない場合、開講しません。  
 ※開講しない場合、申込された方に対して12月下旬までにご連絡いたします。また、受講願・研修冥加金については所轄教務所を经过お返しします。
- 3 開設期間 2026年2月4日(水)～2月24日(火) ※土曜日・日曜日は休講とします(祝日は開講)。
- 4 会 場 東本願寺「真宗会館」〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7
- 5 講義科目 真宗学・仏教学・教化・声明作法・法規・特別講義1・特別講義2
- 6 開講時間 8時50分～18時30分(講義8時間、昼食休憩1時間) ※講義中は適宜休憩をとります
- 7 研修冥加金 150,000円(申込書類提出時に教務所で納入のこと)
- 8 宿泊・食事 ①宿泊は各自で手配してください(東本願寺「真宗会館」での宿泊はできません)。  
 ②日程中の昼食(弁当)は当方で手配します(不要な場合キャンセル可能)。  
 ※食事代は開講式当日、受付にて一括納入ください(1,000円/1食)。
- 9 申込方法 所定の「教師資格取得準備学習会受講願」に写真1枚(上半身脱帽・4cm×3cm)を貼付のこと。  
 ※研修冥加金を添えて所轄の教務所に提出してください。
- 10 申込締切 2025年12月18日(木) 教務所必着  
 ※締切日前であっても定員になり次第募集を締め切りますので、受講願提出にあたって教育部まで電話にて受講申込状況を必ずご確認ください。  
 ※受講願及び研修冥加金は一切返却しません(開講しない場合を除く)。
- 11 その他 受講者には、1月中旬頃に発送する「受講許可通知」にて詳細をお知らせします。

【お問い合わせ】教育部 (TEL:075-371-9193)

宗派公式ウェブサイトにて、日程表・受講願がダウンロードできます⇒



## 8 採用試験の流れ

### (1) 応募書類提出

①提出期間 2025年11月4日(火)から11月28日(金)まで

②提出先 〒600-8505

京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地

真宗大谷派宗務所 総務部 宗務役員募集係

TEL:075-371-9272 (直通)

※書類は、直接持参もしくは書留郵便(簡易書留可)にて11月28日(金)までに必着のこと(持参の場合、平日午前8時30分から午後5時まで)。

### (2) 適性検査(SPI3・テストセンター方式)

①受検期間 2025年11月10日(月)から12月5日(金)まで

※応募書類到着後、弊社より受検案内メールを送信します。

### (3) 筆記試験(真宗・仏教に関する基礎知識)及び個別面接

①期日 2025年12月12日(金)

②会場 真宗大谷派宗務所

※詳細は、応募書類提出期間終了後に通知します。

宗派公式ウェブサイト内「採用情報」ページ(下記)をご参照ください。

([https://www.higashihonganji.or.jp/info\\_recruit/job/](https://www.higashihonganji.or.jp/info_recruit/job/))

## 宗派公式ウェブサイト

## 職員採用情報特設ページ

宗派公式ウェブサイト「採用情報」内の職員採用特設ページには、採用に関する情報や、職員の様々な仕事内容の紹介やインタビュー等を掲載しています。

ぜひ真宗大谷派(東本願寺)で働きたい方など、有縁の方々へのご紹介をお願いいたします。



参拝接待所



大谷祖廟事務所

宗派公式ウェブサイト下部の「採用情報」から、こちらのバナーをクリックいただき、ご覧ください。



## 宗派公式ウェブサイト

<https://www.higashihonganji.or.jp>

東本願寺

検索



スマートフォンからはこちら➡

## 総 務 部

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
TEL.075-371-9272 FAX.075-371-1214

## 宗務役員(事務嘱託・常勤)募集要項

長い歴史の中で親鸞聖人の教えが伝承され、私たちにまで届けられました。

宗門を取り巻く環境が激変する現代において、この教えを次世代に伝えていくことが願われています。

全国のたくさんの寺院、僧侶、門徒とともに教えを聞き、全世界に真宗の教えを届けていくため、このたび、真宗大谷派宗務役員(事務嘱託)として、真宗大谷派の諸事業に従事いただける方を下記の通り募集いたします。ぜひご応募ください。

## 1 募集人員 若干名

## 2 勤務先 宗務所の各部門及び大谷祖廟事務所

※契約期間中に上記範囲内で勤務先が変更となる場合があります。

## 3 勤務時間・休日等

平日午前8時30分から午後5時まで。ただし、土曜日、日曜日及び祝日の勤務の場合があります。なお、本廟部及び大谷祖廟事務所に勤務の場合は、土曜日及び日曜日は出勤日とし、1週間に2日の定例休日があります。

※所定時間外労働及び休日勤務があります。

※上記定例休日の他に、年末年始休日、年次有給休暇、夏期休暇、特別休暇等があります。

## 4 雇用期間 2026年4月1日から2027年3月31日まで【1年間】

※契約更新する場合がありますが、通算5年または60歳を超える契約は行いません。

## 5 労働条件 ①月額契約給 1年目 200,000円(昇給 年1回 ※契約更新した場合に限る)

②諸手当あり(通勤手当、時間外・休日勤務手当、一時金等)

③各種保険あり(健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険)

④福利厚生あり(借上役宅制度、家賃補助、慶弔見舞金等)

## 6 応募資格 ①高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者

②真宗大谷派の僧侶または門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)

## 7 応募書類 ①履歴書・自己紹介書

②写真(上半身で3ヵ月以内に撮影のものを履歴書に添付のこと)

③最終学校卒業証明書または卒業見込証明書

④最終学校成績証明書

※①の所定用紙は、宗務所総務部及び各教務所に備付のもの、もしくは宗派公式ウェブサイトより印刷したものを使用してください。

※③及び④の証明書については、大学卒業後に専門学校を卒業した場合等、最終学校と最高学歴が異なる場合は、それぞれの証明書を提出してください。

※装束を正しく着けることも試験の評価項目となるので、装束作法を習得の上で試験に臨むこと。

※装束が揃っていない場合は受験を認めない。特段の事情により装束の準備が困難である場合は、出願受付期間前までに教育部に相談のこと。

## 8 受験時の持ち物

受験票・筆記用具

「真宗学」受験者は『真宗聖典 第二版』(試験への持ち込みを必須とする)

「声明作法」受験者は以下の経本・声明集

・『浄土三部経(抄)』(法藏館) ※昭和法要式の使用は認めない

・『真宗大谷派声明集』(東本願寺出版) もしくは『大谷声明集(上)』(縮刷版可) (法藏館)

・『真宗大谷派 御文拝読稽古本』(東本願寺出版) もしくは『大正新刻 御文』(法藏館) もしくは『昭和 new 刻 御文(ひらかな版)』(法藏館)

※貸し出しなどの対応は一切しないので必ず持参のこと。

※前回(2025年夏期検定)以降、持ち物が一部変更(『真宗聖典 第二版』『浄土三部経(抄)』(法藏館)) されているので注意のこと。

## 9 小論文

「教化」受験者は小論文(事前レポート)を郵送により提出してください。レポートの「課題」、「字数指定」、「提出締切日(2月上旬予定)」、その他詳細は受験票交付時(1月中旬頃送付予定)に、所定のレポート用紙を添えて通知いたします。

## 10 出願受付期間

2025年12月11日(木)から12月18日(木)まで ※所轄の教務所へ提出のこと。

## 11 受験票の交付

受験願書を教育部で受理した後、受験票を交付(願書に記載の住所へ郵送)します。

## 12 検定冥加金

100,000円(出願書類とともに納入のこと)

※科目別受験の場合は、1科目につき20,000円

※検定冥加金の改定により、今回から上記の金額となります。

## 13 出願書類

所定の「教師試験検定願書」及び「履歴書」

写真2枚(3ヵ月以内に撮影したもので、上半身脱帽・4cm×3cm)

※内写真1枚は、願書に貼付のこと。

※「教師試験検定科目合格証明書」を有する者は、願書の受験科目記入欄に証明書の発行年月を記入のこと。なお、証明書の添付は不要。

【証明書は3ヵ年有効(発行日が2023年8月以降のもの)】

※願書及び検定冥加金は一切返却しません。

### ※免除科目の申請について

①教師条例施行条規第9条第1項第1号に該当する者は、真宗学もしくは仏教学の2科目について免除科目申請を行うことができます。所轄教務所への願書提出前に、予め教育部に連絡の上、「卒業証明書」及び「成績証明書」を教育部宛に送付してください。なお、教育部にて受理審査後、免除科目を通知しますので、所轄教務所にて通知文を添え手続きしてください。

②他派の教師であって本派に転属した者は、別手続きとなりますので、予め教育部まで連絡をください。免除科目を確認するとともに、教育部の指示に従って出願していただくことになります。

【お問い合わせ】 教育部 (TEL:075-371-9193)

宗派公式ウェブサイトにて、教師試験検定に向けて学びを進められる方への参考書や学習のポイントなどをご紹介します。



## 教 育 部

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
TEL.075-371-9193 FAX.075-371-9223

## 2026年 春期教師試験検定要項

- 1 期 間 2026年3月7日(土)から8日(日)まで
- 2 会 場 真宗本廟(東本願寺) 宗務所等
- 3 科 目 真宗学・仏教学・教化・声明作法・法規
- 4 日程(予定) 7日(土) 9:00～12:20 声明作法[筆記及び実技]  
13:40～14:30 法 規[筆記]  
14:50～15:40 仏 教 学[筆記]  
16:00～18:00 教 化[面接]  
※小論文(事前提出レポート)あり
- 8日(日) 9:00～9:50 真 宗 学[筆記]  
14:00～15:30 教師試験検定受験者講習(受講必須)  
16:00頃 合格発表  
16:20頃 合格証・科目合格証明書交付  
合格者は引き続き「教師修練説明会」

※教師試験検定受験者講習は受験者全員受講のこと。受講しない場合、試験の合格は認めない。

※詳細は、受験票交付時(2026年1月中旬頃送付予定)に併せて通知する。

- 5 受 験 資 格 真宗大谷派僧侶で満18歳以上の者

- 6 試 験 形 態 [真宗学・仏教学・法規]

筆記試験により行う。

[声明作法]

筆記試験及び実技試験とし、実技試験は声明作法[浄土三部経(抄)・正信偈草四句目下・念仏和讃三淘・御文(五帖目)]並びに装束作法の習得状況を確認する。なお、筆記・実技それぞれにおいて所定の点数を満たさなければ合格とはならないので留意のこと。

[教 化]

事前に課す小論文(レポート)及び試験当日の面接により行う。

- 7 受 験 時 の 服 装 間衣、輪袈裟、小念珠

※洋服の上に間衣の着用は可。ただし、教師資格取得を目指す者として品位のある服装(襟付きシャツ等)での受験を心がけるようにして、Tシャツ・ジーパン・作業衣等の軽装・作業着は不可。

[声明作法 実技試験受験時の装束]

法膺法衣条例施行条規に定める服装構成のうち、第五種及び第八種。

第五種：直綴、五条袈裟、中啓、半装束念珠

第八種：間衣、輪袈裟、小念珠

內衣は白服とし、襦袢、下着はU首またはV首シャツ(いずれも白色に限る)、ズボン下またはすそよけ、白帯(マジック帯不可)、腰紐、白足袋(小鉤のあるものに限る)

※第五種、第八種ともに試験で依用するので両方持参のこと。

※試験当日、係員の指示に従い同朋会館の改着室にて装束に着替えること。

## 2025年度下半期 教師修練【後期】(教師補任) 実施要項

- 【目 的】 教師修練は、教師の初補を受けるにあたり、仏祖崇敬の念をもって、教法を聞思し、儀式執行の行儀を習得して、宗門荷負の責務を自覚せしめることを目的とする。
- 【期 間】 A 2026年1月24日(土)～1月30日(金)【定員15名】  
書類提出締切：2025年12月17日(水)  
B 2026年2月14日(土)～2月20日(金)【定員10名】  
書類提出締切：2026年1月9日(金)  
C 2026年3月3日(火)～3月9日(月)【定員5名】  
書類提出締切：2026年1月27日(火)  
※必ず書類提出前に受講希望者本人が研修道場までご連絡ください。定員になり次第、締め切ります。  
※受講希望の連絡は、2025年11月4日(火) 午前9時から受け付けます(電話受付は16時30分まで)。
- 【場 所】 真宗本廟 研修道場〔京都市下京区烏丸通七条上 真宗本廟(東本願寺)内〕
- 【資 格】 教師試験検定合格者および無試験検定有資格者で、前期修練修了後3ヵ月以上を経て、且つ3年以内の者
- 【提出書類】 ①教師修練願書 ②教師補任願書 ③履歴書 ④受講者事前資料【後期】 ⑤身元(身分)証明書  
※①～④は、所属教区の教務所から取り寄せてください。  
※⑤は「成年被後見人または被保佐人の通知を受けていない。破産宣告または破産手続き開始の通知を受けていない」という証明です。住民票や戸籍抄本ではありません。各自の本籍地の役所で、3ヵ月以内に取得したものを提出してください。  
※無試験検定有資格者は、①～⑤のほかに「大谷派教師課程単位取得証明書および卒業証明書」が必要です(単位を取得した学校・学院で発行)。
- 【レポ ー ト】 『信の回復』、『靖国問題学習資料集』所収の、①「はじめに」(5頁～8頁)、②「資料3」靖国神社法案(18頁)、③「資料7」母一人子一人の愛児を御国に捧げた誉れの母の感涙座談会(23頁)、④「『戦争』を荷負った教団」(35頁～37頁)、⑤「資料11」非戦と追悼—私たちはどこに立つのか(60頁～68頁)を読んで、「靖国問題を学ぶにあたって、書籍『信の回復』のタイトルがなぜ『信の回復』なのか、について思うこと」を書いたレポート(500字以上1,000字以内)を書類とともに提出のこと
- 【書類提出締切】 所属教区の教務所に上記締切日の16時までに提出のこと
- 【修 練 受 付】 研修道場隣接の和敬堂にて、修練初日の午前8時～8時30分(時間厳守。遅刻者は受け付けません)
- 【冥 加 金】 75,000円[研修冥加金]・70,000円[補任冥加金](すべて修練初日の受付時に納入)
- 【修 練 内 容】 講義(全文筆記を原則とします)・学習・攻究・座談・声明作法・清掃奉仕等
- 【そ の 他】 「服装・携行品」「教師修練にあたっての注意事項」については宗派ウェブサイト内の「教師修練 実施要項」の【その他】(青字表記)から必ずご確認ください。  
「教師修練 実施要項」はこちらから→ 
- ※コードが読み取れない方は各教務所までお問合せください。
- 【お問い合わせ】 研修道場(TEL: 075-371-9271)または各教務所

## 研 修 部

〒600-8308 京都府京都市下京区七条通新町東入ル新シ町121番地  
 研修道場 TEL.075-371-9271 FAX.075-371-9201

## 2025年度下半期 教師修練【前期】実施要項

- 【目 的】 教師修練は、教師の初補を受けるにあたり、仏祖崇敬の念をもって、教法を聞思し、儀式執行の行儀を習得して、宗門荷負の責務を自覚せしめることを目的とする。
- 【期 間】 2026年3月23日(月)～3月29日(日)【定員10名】  
 書類提出締切：2026年2月16日(月)  
 ※2026年3月検定合格者については、合格発表当日の説明会にてご案内します。  
 ※必ず書類提出前に受講希望者本人が研修道場までご連絡ください。定員になり次第、締め切ります。  
 ※受講希望の連絡は、2025年11月4日(火) 午前9時から受け付けます(電話受付は16時30分まで)。
- 【場 所】 真宗本廟 研修道場〔京都市下京区烏丸通七条上 真宗本廟(東本願寺)内〕
- 【資 格】 真宗大谷派僧侶で、教師試験検定合格者および無試験検定有資格者
- 【提出書類】 ①教師修練願書 ②履歴書 ③受講者事前資料【前期】④身元(身分)証明書  
 ※①～③は、所属教区の教務所から取り寄せてください。  
 ※④は「成年被後見人または被保佐人の通知を受けていない。破産宣告または破産手続き開始の通知を受けていない」という証明です。住民票や戸籍抄本ではありません。各自の本籍地の役所で、3ヵ月以内に取得したものを提出してください。  
 ※教師試験検定合格者は、①～③のほかに「教師試験検定合格証(コピー)」が必要です。  
 ※無試験検定有資格者は、①～③のほかに「大谷派教師課程単位取得証明書および卒業証明書」が必要です(単位を取得した学校・学院にて発行)。
- 【レポ ー ト】 『仏の名のもとに』、『部落問題学習資料集』所収の、①「宣言」(12頁)、②「決議」(13頁)、③「部落内の門徒衆へ!」(17頁～18頁)、④「西光万吉の初期思想」(21頁～23頁)、⑤「大谷派における差別事件をめぐる」(53頁～56頁)、⑥「米田富の怒り」(76頁)を読んで、「部落差別問題について思うこと」を書いたレポート(500字以上1,000字以内)を書類とともに提出のこと
- 【書類提出締切】 所属教区の教務所に上記締切日の16時までに提出のこと
- 【修 練 受 付】 研修道場隣接の和敬堂にて、修練初日の午前8時～8時30分(時間厳守。遅刻者は受け付けません)
- 【冥 加 金】 75,000円(修練初日の受付時に納入)
- 【修 練 内 容】 講義(全文筆記を原則とします)・学習・攻究・座談・声明作法・清掃奉仕等
- 【そ の 他】 「服装・携行品」「教師修練にあたっての注意事項」については宗派ウェブサイト内の「教師修練 実施要項」の【その他】(青字表記)から必ずご確認ください。  
 「教師修練 実施要項」はこちらから→ 
- ※コードが読み取れない方は各教務所までお問合せください。
- 【お問い合わせ】 研修道場(Tel: 075-371-9271) または各教務所

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃継続事業

## 若者教化立ち上げ応援プロジェクト 募集要項



**若者と出あい、教えに聞く場を共にひらきたい！  
そんなあなたの思いをかたちにする応援プロジェクトです。**

### 一人の若者を誘って共に聞法の座につく

「若い人にもお参りしてほしい」、「お寺で青年会を立ち上げたい」、「同世代の若者と教えを聞いていきたい。だけど、どうしたらいいんだろう?」

若者と精進料理を作って仏教を語り合う場や、若者をさそい講師のお話を聞いての座談会、子育て世代の方を対象とした集いや、ウェブ会議システムを利用して若者と教えを聞く場がこのプロジェクトで立ち上がっています。ぜひ青少幼年センターまでご連絡ください。

あなたと若者との出あいの場を一緒に準備していきませんか?

- 1 **対 象** 寺院、組、別院、有志の会（真宗大谷派僧侶・門徒によるもの）
- 2 **募 集** 70会所（2023年度～2025年度）※残：16会所（2025年10月現在）  
※本プロジェクトは募集定数に達するまで継続して実施します。  
（2026年6月にて終了）
- 3 **内 容** ①必要に応じて、寺院活性化支援員が事前相談に伺い、状況に合わせた方法を共に考えます。（事前相談に係る寺院活性化支援員派遣費用は、下記経費とは別途企画調整局にて負担します）  
②事業の講師・スタッフ等の経費を補助します。  
（1会所 上限55,000円）
- 4 **応募方法** 青少幼年センターへご連絡ください。

### 青少幼年センター

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199  
しんらん交流館内

T E L 075-354-3440 F A X 075-371-6171

メール oyc@higashihonganji.or.jp



## 真宗本廟奉仕のご案内

「同朋会館」は、全国から集う方々が寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を習う聞法の道場です。ご門徒・お友達を誘って、真宗本廟奉仕にご参加ください。

お申し込みは上山希望日の40日前までに行ってください。

詳細・お申し込み…



### テーマのある真宗本廟奉仕のご案内

◆真宗本廟お煤払い奉仕団 申込締切：2025年11月9日(日)

**2泊** 12月19日(金)～12月21日(日)／**1泊** 12月19日(金)～12月20日(土)

歳末、両堂の1年分の埃を竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎだし、新しい年をお迎えする準備を行う「お煤払い」に参加する奉仕団です。

◆真宗本廟おみがき奉仕団 申込締切：2026年1月22日(木)

**2泊** 3月2日(月)～3月4日(水)／**1泊** 3月2日(月)～3月3日(火)

春の法要を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを両堂の縁で行います。

【参加費】〈2泊3日〉18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円

〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円

※上記は大人(15歳以上)の場合です。

●真宗本廟奉仕施設の利用について…



●「縁」—納骨・帰敬式同朋会館宿泊プラン—  
納骨・帰敬式でのご参拝の際、同朋会館にご宿泊いただけます。



【研修部(同朋会館) TEL：075-371-9185]

## 現在受付中の募集・開催要項等

詳細は本誌もしくは宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

◆南米開教区開教使募集 (本誌7月号119頁)

随時募集(派遣者が定員に達した時点で募集を終了いたします)

組織部(国際室)【TEL：075-371-9187／E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】



◆第14回世界同朋大会のご案内 (本誌10月号39頁)

申込期間：2025年9月1日(月)～2026年3月31日(火)

組織部(国際室)【TEL：075-371-9187／E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】





(お経のみのお扱いです)



| 種別      | 志納額       | 場所   | 読経の扱い    |
|---------|-----------|------|----------|
| 賀慶殿別座読経 | 70,000円以上 | 賀慶殿  | 別座読経     |
| 茶所別座読経  | 50,000円以上 | 茶所仏間 | 別座読経     |
| 本堂読経    | 7,000円以上  | 本堂   | 一座読経     |
| 茶所読経    | 5,000円以上  | 茶所仏間 | 一座読経     |
| 御廟読経    | 5,000円以上  | 御廟   | 一座読経     |
| 総経      | 1,000円以上  | 御廟   | 夕刻に総じて読経 |

●団体参拝について…



●仏前結婚式について……



●施設利用について…



〔大谷祖廟事務所 〒605-0071 京都市東山区円山町477  
TEL : 075-561-0777 FAX : 075-533-0780 〕



## 真宗教化センター しんらん交流館のご案内

教化情報の発信・交流の拠点として、人と人をつなぐ地域に開かれた行事を開催しています。

東本願寺日曜講演 9時30分～11時

11月9日 大谷大学名誉教授 佐賀枝夏文氏「樹木が教えてくれた人生の物語」

※11月2日・16日・23日・30日は休会

### ◆月刊聞法誌『ともしび』(日曜講演の法話を収録)

2025年11月号「病の苦しみがもたらす二つの顔」箕浦暁雄氏(大谷大学教授)

1部130円(本体119円+税10%・送料別)

お申し込みは東本願寺出版(TEL: 075-371-9189)まで



しんらん交流館定例法話 お勤め14時～、法話14時30分～15時30分(毎月12日・27日は10時～)

※毎週火曜日・11月19日～29日休会。その他都合により休会する場合があります。

11月の日程はこちら…



電話相談「東本願寺 いのちとこころの相談室」 毎週木曜日13時～17時

皆さまのお悩み・ご相談をお聞きます。 TEL : 075-371-9280

東本願寺文庫・絵本コーナー 9時～16時30分 ※絵本コーナーの閲覧は17時まで

書籍・絵本の閲覧、貸し出しを行っています。

### 浄土真宗ドットインフォ(しんらん交流館ホームページ)のご案内

お寺のサポート情報・浄土真宗の教えにふれる情報を配信しています。



〔真宗教化センター しんらん交流館 [開館時間/ 9時～17時 休館日/ 毎週火曜日]  
〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地  
TEL : 075-371-9208 メール : shinrankoryukan@higashihonganji.or.jp〕

## 大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内

大谷祖廟は親鸞聖人の御廟所であり、聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

開門：5時 閉門：17時

納骨・永代経・読経受付時間 8時45分～11時30分／12時45分～15時30分

※11時30分～12時45分までは受付を休止しています。

永代経法要 毎日14時30分～15時 定例法話 毎月13日・28日（8/13、9/28、11/28、12/28は休止）  
永代経法要後

のう こつ えい たい きょう  
納骨・永代経



※外装を除く、高さ15cm・直径9cm（3寸壺以下）を超える容器であり、1種から4種で納骨のお申込みをされる場合は、納骨体数毎に志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。

※改葬（墓じまい等）の場合は容器の大小問わず、志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。

※納骨された遺骨はお返しすることができません。

| 種別   | 志納額          | 読経   | お取り扱い                                                      |
|------|--------------|------|------------------------------------------------------------|
| 別座1等 | 1,000,000円以上 | 別座読経 | 納骨当日、抹茶接待<br>毎月の命日・春秋彼岸会・盂蘭盆会に永代読経<br>祥月命日・春秋彼岸会に30年間案内状送付 |
| 別座2等 | 500,000円以上   |      | 納骨当日、抹茶接待<br>毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経<br>祥月命日・春秋彼岸会に20年間案内状送付      |
| 別座3等 | 300,000円以上   |      | 納骨当日、抹茶接待<br>毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経<br>祥月命日・春秋彼岸会に10年間案内状送付      |
| 別座4等 | 150,000円以上   |      | 毎月の命日に永代読経<br>祥月命日に10年間案内状送付                               |

| 種別 | 志納額        | 志納額<br>【容器大／改葬】 | 読経   | お取り扱い                     |
|----|------------|-----------------|------|---------------------------|
| 1種 | 100,000円以上 | 120,000円以上      | 一座読経 | 毎月の命日に永代読経。祥月命日に10年間案内状送付 |
| 2種 | 70,000円以上  | 90,000円以上       |      | 祥月命日と彼岸会（春または秋）に永代読経      |
| 3種 | 40,000円以上  | 60,000円以上       |      | 彼岸会（春または秋）に永代読経           |
| 4種 | 20,000円以上  | 40,000円以上       |      | 永代経のお取り扱いはございません          |

### かいそうのうこつ し 改葬納骨志

「墓じまい」等に伴って、改葬されたご遺骨を受付する際に、「法名」・「俗名」・「命日」等の情報が一切不明の場合、改葬納骨志20万円以上のご志納により受付させていただきます。

詳細内容を確認させていただくため、改葬納骨志を希望される場合は、事前に大谷祖廟事務所までお問い合わせください。

### 〈本山永代経・御影堂読経の事前の手続き〉

- ①読経志をお手次(所属)の寺院・教会をとしてお納めいただき、所定の手続きの上、「永代経御紐解證」・「御影堂読経参詣證」の発行を受けてください。
- ②「永代経御紐解證」・「御影堂読経参詣證」発行の際に配布される参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ホームページから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。  
※本山永代経四等、本山永代経五等、御影堂読経は当日申込できます。

### 〈本山永代経・御影堂読経の当日の受付〉

「永代経御紐解證」または「御影堂読経参詣證」を必ず持参の上、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。

《完全別座読経について》 読経志100万円以上お納めいただきますと、親族のみでの別座にて読経の上、希望数のお斎の接待があります(要事前申込)。

《別座読経について》 読経志を20万円以上お納めいただきますと、別座(同日に他に別座の申込がある場合はご一緒の案内)にて読経の上、上記のとおりお斎の接待があります(要事前申込)。

※完全別座、別座の受付は10時までとなります。当日は10時までに受付をお済ませください。

## き きょう しき 帰敬式



帰敬式は、仏・法・僧の三宝に帰依し、仏弟子となる大切な儀式です。

真宗本廟では、基本的に毎日、午前と午後に執行しています。

**当日の受付** 参拝接待所にて9時から受付をいたします。

**お 礼 金** お一人10,000円(20歳以下5,000円)

- お斎について……………  
精進料理のお膳を書院でお召し上がりいただけます。



- 真宗本廟団体参拝について……………  
諸殿拝観や清掃奉仕等を通して、真宗の教えにふれていただくことを願いとしています。



### 晨朝法話・真宗本廟法話

晨朝【阿弥陀堂及び御影堂】毎日7時～ 晨朝法話【御影堂】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話【視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間】

通常：10時10分～／13時10分～ 逮夜日(12日・27日)：13時10分～

御命日(28日)：9時30分～

法要・法話のご案内…



参拝接待所ギャラリー 9時～16時 入場無料

「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

### 涉成園(枳殻邸)

開園時間 〈3月～10月〉9時～17時(受付は16時30分まで)

〈11月～2月〉9時～16時(受付は15時30分まで)

庭園維持寄付金 一人700円以上(高校生・中学生300円以上、小学生以下無料)



涉成園

〔本廟部・参拝接待所 TEL：075-371-9210〕

## 真宗本廟 参拝接待所のご案内

真宗本廟収骨・読経・帰敬式・お斎・団体参拝の受付を行っています。〔開所時間／9時～16時〕  
〔真宗本廟開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分、11月～2月：6時20分～16時30分〕

各種お申し込み受付時間・お取り扱いの予定は本誌50頁～51頁



### 真宗本廟収骨



法義相続・本廟護持を願いとする相続講金を12万円以上お納めいただきますと、その御扱いとして、御影堂の宗祖親鸞聖人御真影のもとに、ご遺骨をお収めさせていただきます。

**事前の手続き** ①相続講金をお手次ぎ(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「真宗本廟収骨證」の発行を受けてください。参拝接待所では、「収骨證」発行の手続きをしております。必ず事前手続きを行ってください。

②「収骨證」発行の際に配布される参拝案内冊子『参拝される皆さまへ』(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ウェブサイトから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。

※「収骨證」1枚につき、1体のお収めとなります。

**当日の受付** ①ご遺骨に「収骨證」を添えて、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。  
②ご遺骨は参拝接待所にて7cm角の桐箱にお移し替えいたします。お収めしたご遺骨はお返しできません。また桐箱の容量を超えるご遺骨はお返しすることになります。

### 《お斎付真宗本廟収骨について》

※相続講金を1体につき30万円以上お納めいただきますと、規定人数分(3名)のお斎の接待があります(要事前申込)。  
詳細は教務所または参拝接待所までお問い合わせください。

### 本山読経



**本山永代経** 御影堂にて永代経<sup>おひもとぎ</sup>の御紐解(初めての読経)を行い、『法名記』に登載します。  
以後、春・秋彼岸会中にお勤めする「永代経総経」にご案内いたします。

**御影堂読経** 御影堂にて一座読経いたします。  
受付時に法名紙をお渡しし、代表者に法名を清書いただきます。法名紙は読経の際(焼香時)に広蓋に納めていただきます。

**仏間読経** 参拝接待所仏間にて一座読経いたします。参拝接待所受付に当日お申込みください。

※都合により読経場所を変更する場合があります。

| 種別    | 読経志       | 読経扱          | お斎接待 |
|-------|-----------|--------------|------|
| 本山永代経 | 別座特等      | 1,000,000円以上 | 完全別座 |
|       | 別座一等      | 500,000円以上   | 別座   |
|       | 別座二等      | 300,000円以上   | 別座   |
|       | 別座三等      | 200,000円以上   | 別座   |
|       | 四等        | 100,000円以上   | 一般   |
|       | 五等        | 50,000円以上    | 一般   |
| 御影堂読経 | 30,000円以上 | 一般           | なし   |
| 仏間読経  | 10,000円以上 | 随時           | なし   |

2026年1月

## 真宗本廟―収骨・読経・帰敬式―受付時間表

×―お取り扱いなし ●―お取り扱いあり ※受付は9:00より開始、( )―受付締切変更時間

|    |   | 収骨・読経   |              | 帰敬式     |              | 法話    |       | 備 考                               |
|----|---|---------|--------------|---------|--------------|-------|-------|-----------------------------------|
|    |   | 受付      | 午前           | 午後      | 午前           | 午後    | 10:10 | 13:10                             |
| 日  | 曜 | 10:10まで | 13:10まで      | 10:10まで | 13:10まで      | 10:10 | 13:10 |                                   |
| 1  | 木 |         |              |         |              | ×     | ×     | 修正会(～7日)                          |
| 2  | 金 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 3  | 土 |         |              |         |              | ×     | ×     | 如信上人御祥月命日逮夜                       |
| 4  | 日 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 5  | 月 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 6  | 火 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 7  | 水 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 8  | 木 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 9  | 金 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 10 | 土 |         |              |         |              | ×     | ×     |                                   |
| 11 | 日 |         | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 12 | 月 | ×       | ●<br>(14:10) | ×       | ●<br>(14:10) | ×     | ●     | 午前御莊嚴<br>先門首御命日逮夜                 |
| 13 | 火 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 14 | 水 | ●       | ●            | ●       | ×            | ●     | ●     | 嚴如上人御祥月命日逮夜兼<br>歌徳院殿御命日逮夜         |
| 15 | 木 | ×       | ×            | ×       | ×            | ×     | ●     | 午前御莊嚴                             |
| 16 | 金 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 17 | 土 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 18 | 日 | ●       | ●            | ●       | ×            | ●     | ●     | 覺如上人御祥月命日逮夜                       |
| 19 | 月 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 20 | 火 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 21 | 水 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 22 | 木 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 23 | 金 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 24 | 土 | ×       | ×            | ×       | ×            | ×     | ●     | 午前御莊嚴<br>蓮如上人御命日逮夜<br>法然上人御祥月命日逮夜 |
| 25 | 日 | ×       | ×            | ×       | ×            | ×     | ×     | 法然上人御祥月命日中<br>御莊嚴払い               |
| 26 | 月 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 27 | 火 | ×       | ●<br>(14:10) | ×       | ●<br>(14:10) | ×     | ●     | 午前御莊嚴<br>宗祖聖人御命日逮夜                |
| 28 | 水 | ●       | ×            | ●       | ×            | 9:30  | ×     | 宗祖聖人御命日日中                         |
| 29 | 木 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 30 | 金 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |
| 31 | 土 | ●       | ●            | ●       | ●            | ●     | ●     |                                   |

2025年12月

## 真宗本廟―収骨・読経・帰敬式―受付時間表

※帰敬式について、住職選定法名での受式をご希望の場合は、受式の1ヵ月前までに参拝接待所までお申し込みください。

|    |   | 収骨・読経                                                                                              |               | 帰敬式           |               | 法話            |                | 備 考                |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--------------------|
|    |   | 受付                                                                                                 | 午前<br>10:10まで | 午後<br>13:10まで | 午前<br>10:10まで | 午後<br>13:10まで | 10:10<br>13:10 |                    |
| 日  | 曜 |                                                                                                    |               |               |               |               |                |                    |
| 1  | 月 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 2  | 火 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 3  | 水 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 4  | 木 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 5  | 金 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 6  | 土 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 7  | 日 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 8  | 月 | ×                                                                                                  | ×             | ×             | ×             | ●             | ●              |                    |
| 9  | 火 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 10 | 水 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 11 | 木 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 12 | 金 | ×                                                                                                  | ●<br>(14:10)  | ×             | ●<br>(14:10)  | ×             | ●              | 午前御莊嚴<br>先門首御命日逮夜  |
| 13 | 土 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              | 住職任命式              |
| 14 | 日 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ×             | ●             | ●              | 歌徳院殿御命日逮夜          |
| 15 | 月 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 16 | 火 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 17 | 水 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 18 | 木 | 【お煤払い】<br>収骨・読経・帰敬式のお取扱いはありません<br>(仏間読経のみお取扱いはあります)。<br>ご遺骨を持参された場合、参拝接待所にて<br>お預かりし、21日にお収めいたします。 |               |               |               | ×             | ×              |                    |
| 19 | 金 |                                                                                                    |               |               |               | ×             | ×              |                    |
| 20 | 土 |                                                                                                    |               |               |               | ×             | ×              |                    |
| 21 | 日 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 22 | 月 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 23 | 火 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 24 | 水 | ●                                                                                                  | ●<br>(14:10)  | ×             | ●<br>(14:10)  | ●             | ●              | 蓮如上人御命日逮夜          |
| 25 | 木 | ●                                                                                                  | ●             | ●             | ●             | ●             | ●              |                    |
| 26 | 金 | ×                                                                                                  | ×             | ×             | ×             | ●             | ●              |                    |
| 27 | 土 | 【年末】<br>収骨・読経・帰敬式のお取扱いはありません<br>(仏間読経のみお取扱いはあります)。<br>ご遺骨を持参された場合、参拝接待所にて<br>お預かりし、1月11日にお収めいたします。 |               |               |               | ×             | ×              | 午前御莊嚴<br>宗祖聖人御命日逮夜 |
| 28 | 日 |                                                                                                    |               |               |               | ×             | ×              | 宗祖聖人御命日市中          |
| 29 | 月 |                                                                                                    |               |               |               | ×             | ×              |                    |
| 30 | 火 |                                                                                                    |               |               |               | ×             | ×              |                    |
| 31 | 水 |                                                                                                    |               |               |               | ×             | ×              | 御莊嚴                |

新潟教区 第18組 重蓮寺  
前坊守 関 崎 榮 子  
2025・7・24寂(90歳)

金沢教区 第4東組 本浄寺  
前坊守 末 井 藍 子  
2025・1・2寂(91歳)

小松大聖寺教区 第1組 長寿寺  
前坊守 二 木 チヅ子  
2025・3・3寂(91歳)

福井教区 第3組 心敬寺  
前坊守 光 弘 セツ子  
2025・7・17寂(97歳)

大垣教区 第7組 受念寺  
前坊守 辻 峯 子  
2025・8・14寂(93歳)

岐阜高山教区 第15組 本光寺  
前坊守 本 川 圭 子  
2025・7・20寂(93歳)

岡崎教区 第14組 善門寺  
前坊守 大 橋 幸 代  
2025・7・1寂(90歳)

名古屋教区 第1組 佛聲寺  
坊 守 寺 西 慶 子  
2025・2・18寂(73歳)

三重教区 長島組 寶林寺  
前坊守 中 川 沢  
2024・11・20寂(103歳)

京都教区 長浜第17組 浄泉寺  
坊 守 寺 義 美智子  
2025・7・31寂(97歳)

京都教区 長浜第23組 頼念寺  
前坊守 古 松 文 子  
2025・3・28寂(99歳)

京都教区 山城第5組 法敬寺  
前坊守 相 樂 と よ  
2025・2・22寂(100歳)

京都教区 近江第25西組 本慶寺  
前坊守 高 木 雅 子  
2025・4・21寂(91歳)

大阪教区 第4組 陽南寺  
前坊守 蜂須賀 由 子  
2025・7・8寂(80歳)

大阪教区 第5組 林照寺  
前坊守 藤 岡 晶 子  
2025・7・3寂(86歳)

山陽四国教区 備中組 龍階寺  
前坊守 東 豊  
2025・6・25寂(93歳)

九州教区 熊本東組 明運寺  
前坊守 長谷部 富貴子  
2025・7・5寂(75歳)

## 民藝 他力の美

太田浩史

若松英輔氏  
推薦

東本願寺出版



民藝の美、  
それは他力の美。  
美しくしかないもの。

## 民藝 他力の美 太田浩史 著

民藝とゆかりの深い富山県南砺市に生まれ育った太田浩史氏が、柳宗悦をはじめ民藝運動に参加した様々な人物のエピソードも交えた29のエッセイで、「他力の美」である民藝の世界を案内する一冊。

A5変形判／オールカラー・96頁  
定価：2,200円(税込)



東本願寺出版  
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

詳しい書籍情報・  
試し読みは

東本願寺出版



当派の寺院・教会からの  
ご注文は2割引となります。

**敬 弔**

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(2025年8月16日～9月15日受付まで)

**住職及び前住職**

新潟教区 第7組 淨嚴寺

前住職 中 戸 義 賢

2025・7・13寂(96歳)

富山教区 第11組 祐教寺

住 職 佐 伯 淳

2025・6・27寂(71歳)

能登教区 第10組 福正寺

前住職 信 樂 修 巳

2025・6・29寂(84歳)

岐阜高山教区 第3組 上徳坊

住 職 宮 田 徳 邦

2025・7・17寂(98歳)

岐阜高山教区 第13組 専龍寺

前住職 大 野 章 允

2025・7・20寂(87歳)

岡崎教区 第7組 等周寺

前住職 天 野 知 行

2025・7・29寂(75歳)

岡崎教区 第8組 來空寺

住 職 百 濟 圓 覺

2025・6・4寂(86歳)

岡崎教区 第9組 了淳寺

住 職 大 溪 専 淳

2025・8・9寂(81歳)

名古屋教区 第9組 明喜寺

前住職 大 野 賢 導

2025・8・2寂(94歳)

三重教区 桑名組 西恩寺

前住職 池 田 勇 諦

2025・6・29寂(90歳)

京都教区 近江第11組 養照寺

前住職 高 木 徳 本

2025・7・14寂(100歳)

山陽四国教区 第1組 顔念寺

前住職 藤 野 雅 豊

2025・8・19寂(92歳)

山陽四国教区 第5組 永徳寺

前住職 島 直 樹

2025・8・10寂(69歳)

山陽四国教区 東讃組 専龍寺

前住職 野 口 正 一

2025・6・23寂(96歳)

**坊守及び前坊守**

東京教区 茨城1組 福法寺

前坊守 石 川 麗 子

2025・7・27寂(92歳)

新潟教区 中越13組 稱讃寺

前坊守 光 澤 睦

2025・6・25寂(96歳)

毎月全国へ出張訪問中  
まずは電話、メールなどでご連絡ください。  
日程相談の上参上いたします。

寺宝 正絹金襴緞子  
文化財修理修復表装

※正絹本金の場合はお見積りください



表具幅 83cm まで 正絹

44

万円  
(税込)

表具幅 70cm まで 正絹

38

万円  
(税込)

御絵伝・七高僧・聖徳太子

杉本工芸

自社工房内で一貫作業いたします

〒602-8268 京都市上京区山里町 236-1

TEL 075-417-6966

sugikake@gmail.com

そろそろ  
修理

見積無料

大僧都

本田彰一 藤野憲佑 一ノ宮恵潤 島 直樹

権大僧都

宮尾悠樹 窪田昌展 鬼頭大信 棕田蓮人

僧都

秦 康真 小串慧詢

権僧都

三枝明史 高木徳本 大野賢導

律師

奥村 翔 村上貴生 橘 智慶

権律師

川那邊睦美

法師位

小島一希 大野淳天 川那邊惟奈 百濟圓覺

満位

大溪専淳

学 階

学師

秦 康真

教導発令

小野寺和彦

輔導使に任命します

(2025年8月22日)

井上 円 太田宣承 池崎方子 采翠 晃

大飼祐三子 花山孝介 四衢 亮 草野顕之

真宗本廟教化教導に任命します

(8月28日)

得 度

(9月9日)

岐阜高山教区第15組 浄因寺

京都教区山城第2組 願照寺

京都教区山城第2組 大泉寺

京都教区近江第9組 正覺寺

大阪教区第17組 法敬寺

大阪教区第27組 教願寺

大阪教区第27組 教願寺

山陽四国教区東讃第1組 徳成寺

山陽四国教区東讃組 妙覺寺

山陽四国教区土佐組 源通寺

九州教区京都組 浄喜寺

九州教区山門西組 常樂寺

九州教区大牟田三池組 福回寺

九州教区長崎組 西心寺

玉腰百々子

山口見雪

松浦弥優

佐々木康子

逸崎仙造

玉井千代美

尻懸優衣

大山夏子

千葉唯信

嶋崎海蓮

大丸 悟

江島 輪

井田優翔

近藤慧祐

功章旌賞

特殊大功章

老松憲生 佐伯 淳

特殊功章

畠平 諭 大野章允

第一功章

清水晃秀 安田 聡 井上真人 伊藤光性

第三功章

稲葉一成

第六功章

川那邊睦美

第七功章

川那邊惟奈

特殊大旌賞

老松憲生 小野秀之

特殊旌賞

井上真人

一等旌賞

清水晃秀 安田 聡 伊藤光性 板垣洋志

三等旌賞

稲葉一成

六等旌賞

川那邊睦美

七等旌賞

川那邊惟奈

八等旌賞

秋山順弘 松下英順 田澤 南 藤田真梨

所在地変更

大阪教区第8組 受西寺

兵庫県西宮市山口町中野一丁目3番30号

本田淳史 足利栄子 中谷潤心 藤井如子  
高橋仁誓 大場孝史

修練道場指導補に任命します

(以上、9月3日)

安本浩樹

修練道場指導に任命します

永寶晴香 昌平 論 桂川正見 豊島貴子

測上知明 日野 直 藤岡照也

修練道場指導補に任命します

(以上、9月15日)

## 住 職

(8月28日)

北海道教区第16組 瑞寶寺

東京教区東京1組 敬覺寺

新潟教区第6組 光照寺

新潟教区第7組 願樂寺

富山教区第10組 唯見寺

富山教区第11組 淨徳寺

富山教区第11組 祐教寺

富山教区第1組 等源寺

富山教区第3組 皆蓮寺

金沢教区第3下組 明樂寺

金沢教区第5組 慶覺寺

小松大聖寺教区第1組 空善寺

福井教区第3組 願正寺

大垣教区第10組 而法寺

京都教区近江第4組 正福寺

大阪教区第5組 淨琳寺

九州教区鹿児島組 大行寺

宗隆 歩

浅野元彰

新田弘昇

羽賀浩明

神保孝順

佐々阿都姫

佐伯 了

逸見誓孝

酒井堅信

山根知洋

泉英太郎

久世孝治

大和輝勝

栗田寛樹

川田久美子

森 広樹

青矢大宗

## 住職代務者

北海道教区第20組 東光寺

北海道教区第20組 真勝寺

東北教区秋田県西組 妙圓寺

新潟教区第5組 安證寺

池田和仁

波佐谷見英

児玉圭樹

芳野良英

富山教区第2組 祥雲寺

大垣教区第14組 養老寺

岡崎教区第9組 精立寺

名古屋教区第9組 了正寺

名古屋教区第21組 竹雲院

京都教区長浜第12組 稱揚寺

京都教区敦賀組 高福寺

京都教区近江第3組 福正寺

京都教区近江第7組 舊縁寺

京都教区近江第25東組 覺傳寺

京都教区若狹第2組 佛行寺

京都教区丹波第1組 覺了寺

大阪教区第3組 淨安寺

大阪教区第5組 長光寺

大阪教区第11組 玄通寺

大阪教区第17組 常德寺

九州教区日田玖珠組 西林寺

九州教区福岡組 光西寺

九州教区熊本中組 忍法寺

九州教区熊本西組 常尊寺

九州教区熊本東組 玄照寺

九州教区鹿児島組 高德寺

九州教区鹿児島組 大心寺

天野宏昭

徳永 寛

三浦真教

吉川正英

坂倉 篤

笠原俊典

川越道雄

川嶋 正

杉本智海

安藤一成

松谷慶照

川口虎太郎

高田憲博

藤並慈慧

奥林 曉

宮井皆子

大川 朗

高木友裕

千場義晴

西 信昭

志賀怜子

富重真直

大塚大治

## 教会主管者代務者

名古屋教区第12組 前ヶ須教会

佐藤徳英

## 特命教会主管者

小松大聖寺教区第2組 常磐会館

宮尾隆造

小松大聖寺教区第1組 常葉会館

宮尾隆造

山陽四国教区東讃第1組 真宗大谷派四国会館

加藤真樹

## 教 師

僧正

小野秀之 中戸義賢 天野知行

権僧正

岩倉彰恵 宮尾正仁 椋田隆知 信樂修巳 藤野雅豊



御香・蠟燭  
創製三百年

# 財木屋

〒602-8034 京都市上京区油小路通丸太町上ル  
TEL(075)231-1063 FAX(075)231-1068

駐車場・不動産(運用・活用)  
もお任せ下さい



## キョウテク 株式会社

〒600-8172 京都市下京区不明門通五条下ル  
tel.075-365-8000 <http://kte.ne.jp>

法規

4 出願受付期間 2025年12月11日から12月18日まで

以上

**任 免 辞 令**

西野健太郎

五村別院書記に任命します

五村別院書記 西野健太郎

五村別院列座の兼務を命じます

山陽四国教務所主事 福家美香

土佐別院会計事務取扱を命じます

山陽四国教務所主計 蓮元聖吾

広島別院会計事務取扱を命じます

(以上、2025年7月1日)

本廟部書記 恵木淳子

財務部書記の兼務を命じます

本廟部嘱託 佐藤めい

財務部嘱託の兼務を命じます

組織部主事 番坂啓史

国際室掛を命じます

(以上、8月1日)

藤川由紀 新田義樹 照井静志 山出寛之

石田正純 石田悠晃

東北教区寺院活性化支援員(寺院運営活性化支援担当)に任命します

期限 2026年6月30日まで

(8月6日)

高須別院輪番 水谷正人

願により役務を免じます

(8月18日)

中嶋智真

高須別院輪番に任命します

任期 2029年8月18日まで

本廟部定衆 藤原 忍

同 藤井玄珠

報恩講式事に任命します

本廟部堂衆 坂谷学称

報恩講掌儀に任命します

本廟部堂衆 泉 唯夫

同 鈴木真太郎

報恩講書記に任命します

(以上、8月19日)

北米開教監督 伊東憲昭

願により役務を免じます

(8月31日)

ハワイ開教監督 河和田賢淳

北米開教監督に任命します

井上尚実

ハワイ開教監督に任命します

青山昭典

赤穂別院輪番に任命します

任期 2029年8月31日まで

海野 聡

三条別院列座に任命します

北米開教監督 河和田賢淳

東本願寺ロサンゼルス別院輪番の兼務を命じます

ハワイ開教監督 井上尚実

東本願寺ハワイ別院輪番の兼務を命じます

根室別院列座 福寫 誠

根室別院会計の兼務を命じます

任期 2028年8月31日まで

ハワイ開教監督 井上尚実

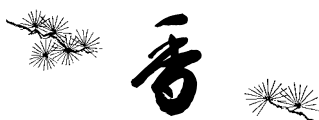
アメリカ真宗センター所長の兼務を命じます

(以上、9月1日)

門井 斉

修練道場指導に任命します

波戸 章 足立千恵 西寺真也 門井 良



創業宝永年間 各宗大本山御用達

香老舗 松榮堂

京都市中京区烏丸通二条上ル東側  
〒604-0857 電話 075(212)5590(代)

www.shoyeido.co.jp



東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174

京都市下京区烏丸通花屋町下ル

電話 (075)351-6325

フリ-FAX 0120-89-5255

定休日：日曜日



御本山御用達

燭



薫香

わた悟商店

〒600-8223 京都市下京区七条通西洞院西入大黒町239

TEL 京都 371-7690 FAX 京都 371-8752



# 真宗 11月号

## 公示・告示・任免等 ご案内・要項

### 公示・告示・任免等

|          |     |
|----------|-----|
| 公示・告示    | (2) |
| 任免辞令     | (3) |
| 住職       | (4) |
| 住職代務者    | (4) |
| 教会主管者代務者 | (4) |
| 特命教会主管者  | (4) |
| 教師       | (4) |
| 学階       | (5) |
| 教導発令     | (5) |
| 得度       | (5) |
| 功章・旌賞    | (5) |
| 所在地変更    | (5) |
| 敬弔       | (6) |

### ご案内・要項

|                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 真宗本廟収骨・読経・帰敬式受付時間表(12月～1月)...    | (8)  |
| 真宗本廟 参拝接待所のご案内                   | (10) |
| 大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内                | (12) |
| 真宗教化センターしんらん交流館のご案内              | (13) |
| 真宗本廟奉仕のご案内                       | (14) |
| 現在受付中の募集・開催要項等                   | (14) |
| 若者教化立ち上げ応援プロジェクト募集要項             | (15) |
| 2025年度下半期 教師修練【前期】【後期】(教師補任)実施要項 | (16) |
| 2026年 春期教師試験検定要項                 | (18) |
| 宗務役員(事務嘱託・常勤)募集要項                | (20) |
| 2026年「教師資格取得準備学習会」募集要項           | (22) |
| 解放運動推進本部 本部要員募集要項                | (23) |
| 首都圏教化推進本部職員(法務員)募集要項             | (24) |
| 真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】             | (25) |

本誌に関してのご意見・  
ご要望をお寄せください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版『真宗』誌係  
FAX:(075) 371-9211 E-mail:shuppan@higashihonganji.or.jp

2025年(令和7年)11月1日発行 第1460号 1部定価:275円(本体250円+税10%・送料別 毎月1日発行)

編集 東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)

発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越 渉

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 電話(075) 371-9181 振替01000-6-27404(出版部)

印刷所 (株)京富士印刷 京都市西京区大枝南福西町3-4

価値ある よき品質の製品をつくる会社



SHIBATAHOUITEN



Webサイト

【宗祖親鸞聖人七百五十四御遠忌記念 紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納】

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前(定休日 日曜日・祝日)

■TEL 075-341-6391(代)

■TEL フリーダイヤル 0120-07-6391 ■FAX フリーダイヤル 0120-34-2816

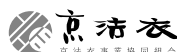
■URL <https://shibata-houiten.com/>(Webカタログ掲載・商品動画配信可)

■E-Mail shibatahoui@mub.biglobe.ne.jp



御堂装束動画

真宗大谷派 東本願寺御用達



京法衣事業協同組合加盟店



株式  
会社

柴田法衣店

今月の推奨念珠



本水晶(白七宝仕立)〈本絹房〉  
店頭小売価格 13,200円(税込)  
上質な本水晶に日本の伝統技術七宝玉  
を合わせ、白色本絹房でお仕立しました。



龍眼菩提樹 二十五(水晶鳳凰彫仕立)  
店頭小売価格 14,300円(税込)  
三角形の龍眼模様が入った龍眼菩提樹に  
鳳凰を彫刻した水晶親玉を合わせお仕立。

※掲載商品のカラー画像はオンラインショップでご覧頂けます。

御法要の記念品は

品質・価格・残った品物の御引取を保証する

念珠の製造専門店

福永念珠舗

創業寛政九年 京都

〒600-8174 京都市下京区東本願寺前上珠敷屋町角  
電話 (075)-351-2960 FAX (075)-351-0018



龍  
眼  
菩  
提  
樹



本  
水  
晶  
珠



福  
永  
念  
珠  
舗  
オ  
ン  
ラ  
イ  
ン  
シ  
ョ  
ッ  
プ



御本山 御用達

営業品目 法衣・打敷・御幕・念珠・貸帷衣装

(株) 平安法衣店

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年

立教開宗八百年慶讃法要

御影堂御前卓 紅葉桜色地 真向龍 本手刺繍 御打敷

〒600-8153

京都市下京区廿人講町16

電話 (075) 351-3681(代)・FAX (075) 351-5563

振替口座 01080-2-3222

真鍮製仏具向け洗淨剤

# 《みぞきれい、ぴかっと》

目詰まりキレイに！泡沫で溝や彫刻細部の汚れ除去！

洗淨剤の改良により、より強い効果が発揮できるようになりました。特に石灰化した研磨剤の目詰まりには強い威力を発揮します。是非、報恩講等ご法要の前のお磨きにご利用ください。



50ml入(スプレー) ……1,760円  
200ml入(スプレー) ……5,830円  
詰め替え用2000ml入 ……41,800円

※価格はいずれも税込です。

京都本社 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入  
築地店 / 札幌店 / 仙台営業所 / 福岡営業所

お仏壇の事なら何でもお気軽にご相談ください。☎ 0120-37-8585

<https://www.wakabayashi.co.jp/>

若林佛具製作所オンラインショップ

<https://www.wakabayashi-jiin.com/>



荘厳仏具から内装・納骨壇まで、全国・宗派対応いたします。  
お買い物にお得なクーポン配布中！

《合掌の心と共に196年》



創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具

株式会社 若林佛具製作所

文化財修理 社寺内装・外装工事



株式会社 若林工芸舎

## 東本願寺出版 秋のブックフェア

期間：11月1日(土)～11月30日(日)

### 1 オンラインチャリティブックフェア

東本願寺出版オンラインショップにおいて、傷や折れがある書籍を**定価の半額**で販売します。

売上金は令和6年能登半島地震の宗派救援金にいたします。

### 2 期間・数量限定 オリジナルグッズプレゼント

「法語カレンダー 2026年版」と「今日のことは2026年版」

を**同時に購入**でオリジナルグッズをプレゼント！

新刊書も発売中！詳しくは東本願寺出版オンラインショップをご覧ください。

【お問い合わせ】

東本願寺出版 (TEL: 075-371-9189 ※平日9時～16時)

東本願寺出版

検索

